

理工学系メイン  
キャンパス

・室形状が細長く天井が高い。授業運営の中で防音、空調、視線などの検討が必要となる。



・遠くからは黒板が見えないのでモニターテレビがある。  
・6人掛けの席には席を立て貰わないと入れない。

教育学系メイン  
キャンパス



・中教室と同じ構成であるが、中央に通路があるため、教員は話しづらいことも考えられる。設備は、AVシステム、黒板と他の今日湿度同様であるが、教卓は大きい。出入口は前後合わせて4ヶ所である。

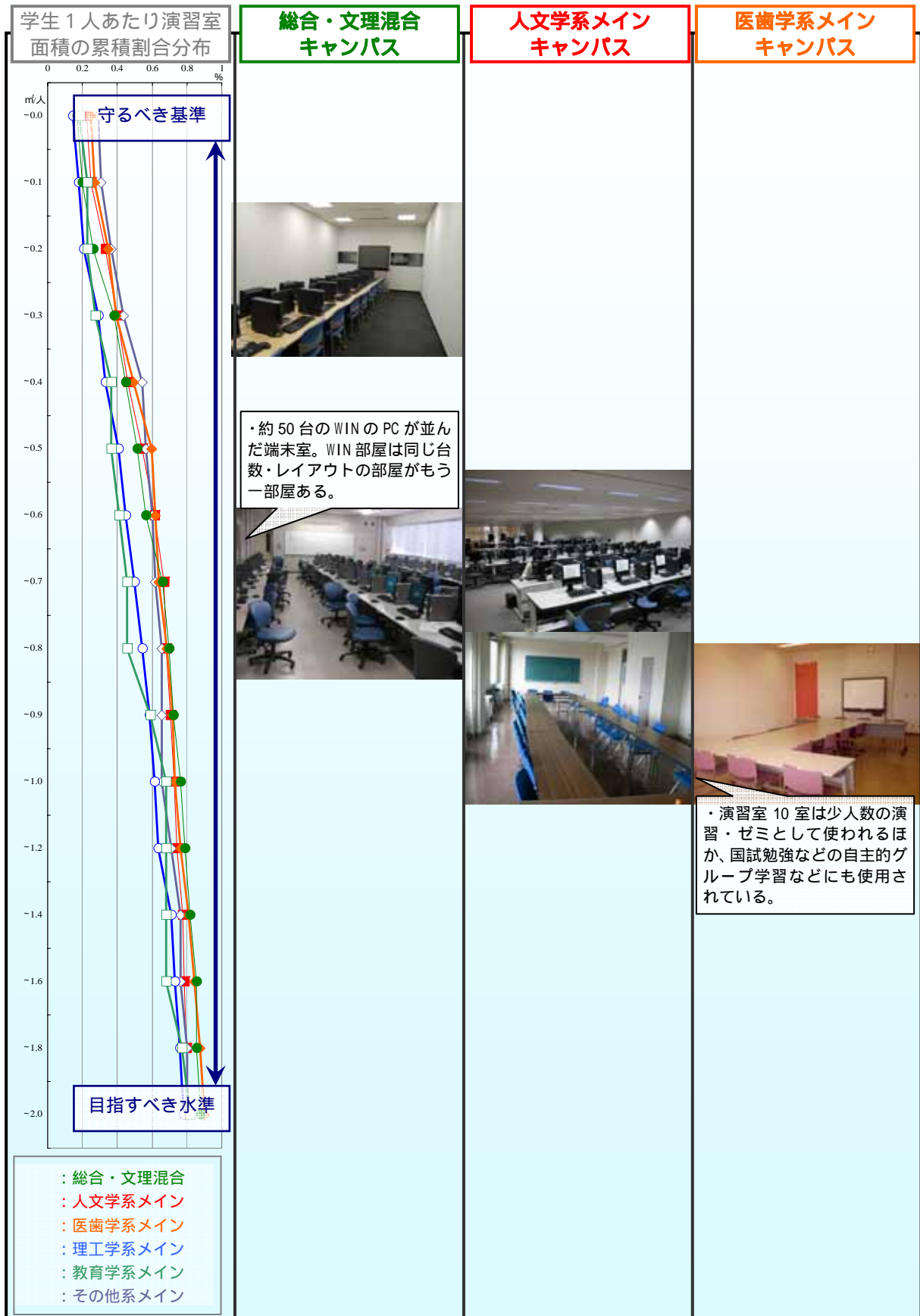


・プロジェクター・スクリーン・スピーカーは常設である。後部の座席用にテレビも設置されている。

その他系メイン  
キャンパス

・200名収容の大講義室。天井高があり、気積も十分であるが、平土間であるため、教壇を観やすいとは言い難い。また、開口部が真西を向いているため、夏季の直射光により室温が高温になる。





理工学系メイン  
キャンパス

・情報処理演習室。パソコン  
が一人一台あるが、大勢な  
ためその把握と指導が大変。



教育学系メイン  
キャンパス

・講義棟にある PC ルーム。  
約 50 台の PC が並ぶ。利用頻  
度は高いがここ 1 箇所にし  
かない。



その他系メイン  
キャンパス

・50 台の機器が設置されて  
いる。各機の中央のモニター  
は、教員の指導用で、各机に  
直接解説が投影される。

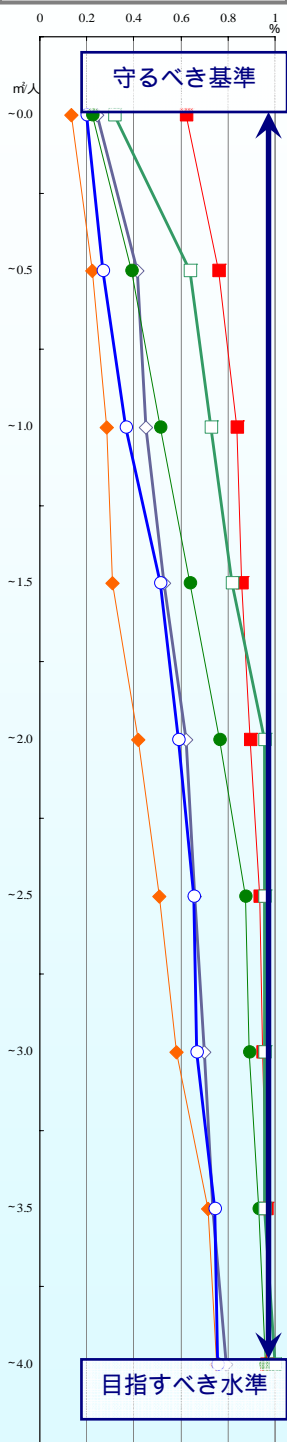


・PC 演習室。PC 機の他に何  
も置かれていない機の作業  
スペースが設けられている。  
演習室における多様な活動  
をバックアップする机配置  
が必要である。





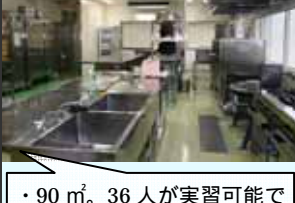
学生 1 人あたり実験室面積の累積割合分布



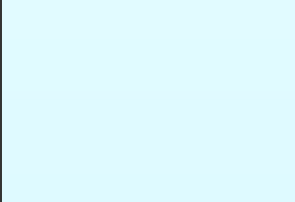
- : 総合・文理混合
- : 人文学系メイン
- : 医歯学系メイン
- : 理工学系メイン
- : 教育学系メイン
- : その他系メイン

**総合・文理混合  
キャンパス**

・学生実験室。各テーブルに水道が設置されている。エアコンの配管等は壁面、天井に埋め込まれていない。  
 ・出入口は両開きだが、前面に冷蔵庫があるために片側しか解放できない。



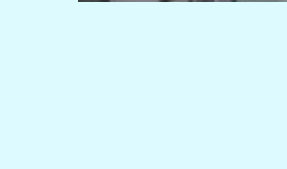
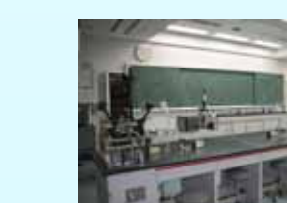
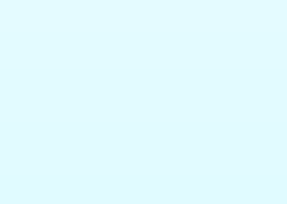
・90 m<sup>2</sup>。36 人が実習可能である。土足厳禁。  
 ・実習設備はかなり充実しているという印象を受けた。



**人文学系メイン  
キャンパス**



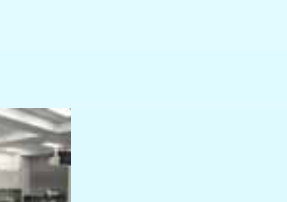
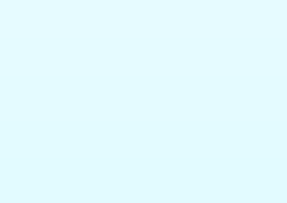
・教養の理科実験等で使用する教室。学生は実験をしない聴講スタイルとなっている。  
 ・教卓にのみ、水栓、ガスが装備され、教師によるデモンストレーションができるようになっている。  
 ・学生側の座席に向かって、スピーカー、モニター等装備は整っている。



**医歯学系メイン  
キャンパス**



・実験室は全く使われておらず、実験的な看護研究をする上では問題がある。



理工学系メイン  
キャンパス



・化学実験室。主な作業機はアイランド型の配置になっている。  
・中央の高い棚は上部のものがとりづらくなっている。



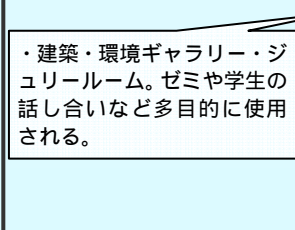
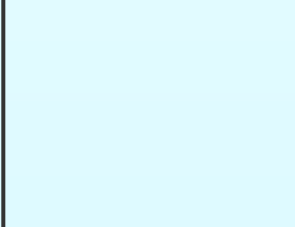
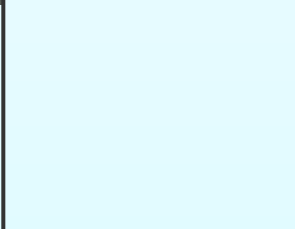
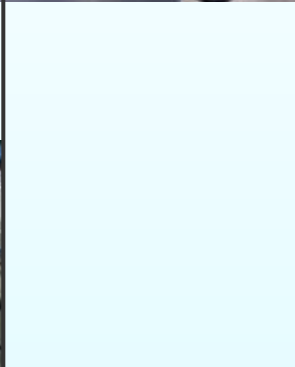
・実験室全体を見る。実験器具が雑然と置かれており狭い。  
・安全装置としては消火栓と煙探知機のみで安全性には欠ける。  
・外部から入れる場所に実験材料が置いてある。  
・壁に沿って実験器具が並ぶ。



・化学実験室。重量機器が多い。  
・実習、実験室への配管・配線は中庭屋外に集約され、維持管理を行いやすいように構成されている。  
・室内の空気環境の現状と基準値から、学生用居室を別に設ける必要がある。全体空調と局部空調を改善する必要がある。



教育学系メイン  
キャンパス

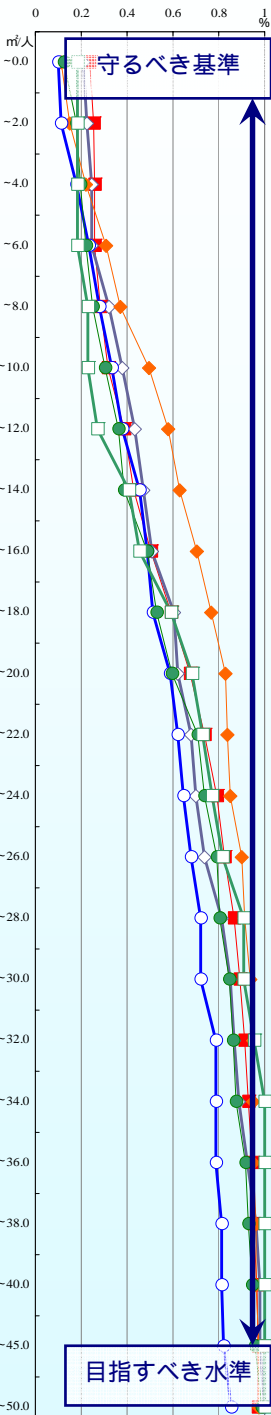


・建築・環境ギャラリー・ジュリールーム。ゼミや学生の話し合いなど多目的に使用される。

その他系メイン  
キャンパス



教員 1 人あたり研究  
面積の累積割合分布



- : 総合・文理混合
- : 人文学系メイン
- : 医歯学系メイン
- : 理工学系メイン
- : 教育学系メイン
- : その他系メイン

**総合・文理混合  
キャンパス**

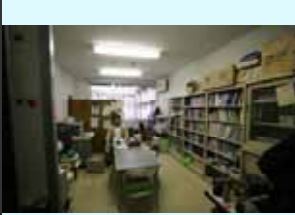
- ・室の両脇に天井まで届く高さの本棚が設置されている。
- ・研究執務室出入口の脇に、洗面台が設置されている。



- ・特別研究員と博士課程の学生が主に利用している。ゼミの際には多学年の利用に供され、室自体は大きい。



- ・研究室。45 m<sup>2</sup>。教員 + 学生 5 (院生 1、学生 4)。この他に 22 m<sup>2</sup>の実験室がある。



**人文学系メイン  
キャンパス**

- ・ソファをはずし、書棚、秘書執務機を増やしている。
- ・教職員研究室は学生室とは、配置的に無関係に、廊下沿いに並ぶ。



- ・研究執務室は、教官の個人研究室として用いられている。学生指導を研究執務室で行う機会が少ないため、その狭い。



- ・教員室。執務機、書架、打合せスペースがあるが資料が多いためかなり狭い。
- ・その他、共同研究室は学科、分野の数人の教員が共同で使用。

**医歯学系メイン  
キャンパス**



- ・個室の研究室があるが、スペースは大きくないので、5人以上のゼミは不可能である。



理工学系メイン  
キャンパス

・狭い印象が残る。本の置く場所は足りてないと思う。



・化学系教員の研究室。部屋そのものは、40㎡以上あり、他に応接室、事務スペース、学生室が確保され、空間量として非常に余裕がある。



教育学系メイン  
キャンパス

・音楽科教員研究室。他の研究室と比べて広い。  
・学生研究スペースはホールとしての空間を研究スペースとして利用している。



・研究室としては幅が狭く奥行きが長い。

その他系メイン  
キャンパス

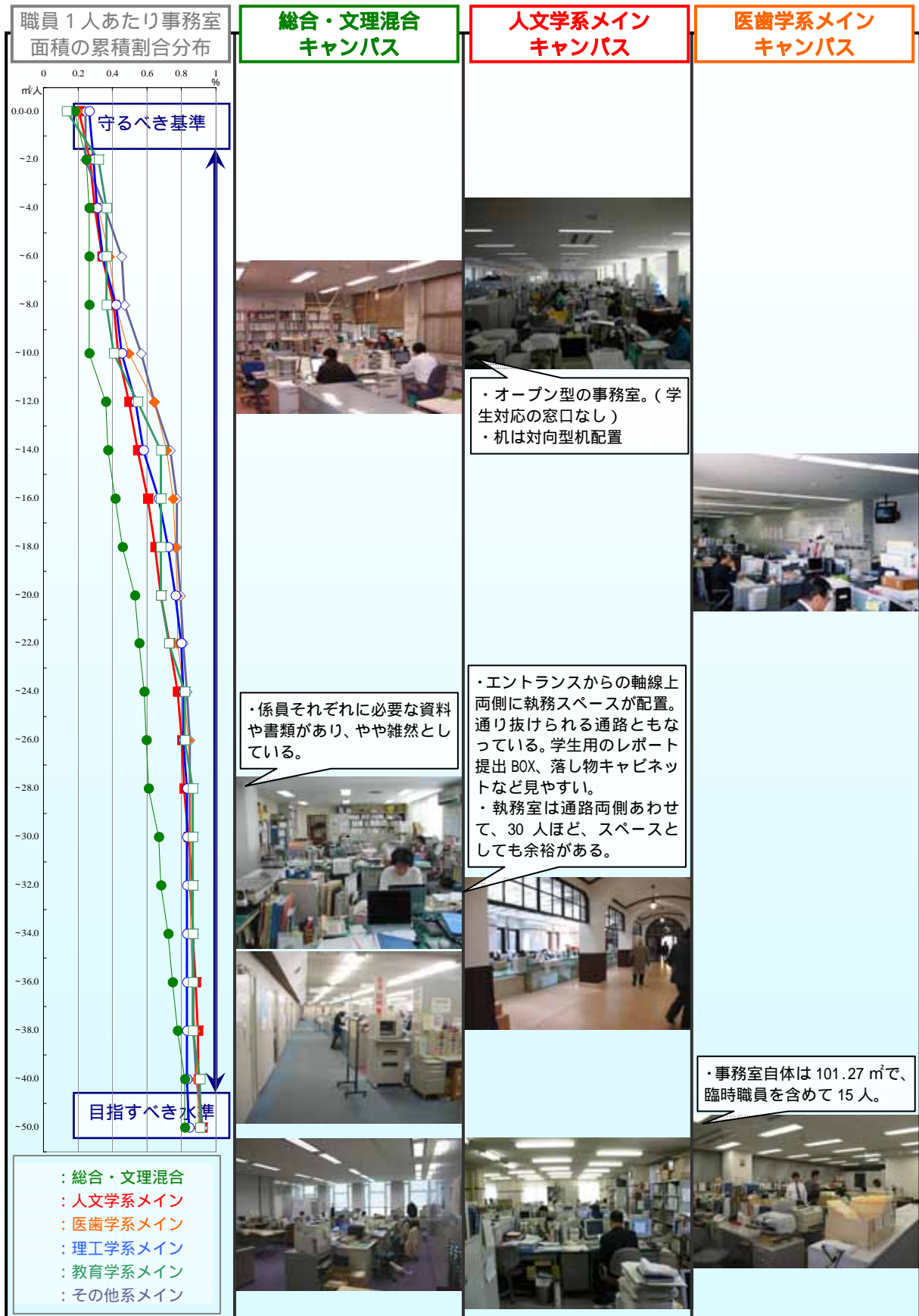
・部屋そのものは、一般的な20~25㎡の個室となっている。教員研究室の専用と共用の区別を、柔軟に運用し、勤務状況との適正化を図っていくことが必要となる。



・部屋の大きさは18㎡程度、確執の標準的な備品は、左側にある本棚。天井高が4m以上あり、幅が3mと狭いが圧迫感はない。







総合・文理混合  
キャンパス



・係員それぞれに必要な資料や書類があり、やや雑然としている。



人文学系メイン  
キャンパス



・オープン型の事務室。(学生対応の窓口なし)  
・机は対向型机配置

・エントランスからの軸線上両側に執務スペースが配置。通り抜けられる通路ともなっている。学生用のレポート提出BOX、落し物キャビネットなど見やすい。  
・執務室は通路両側あわせて、30人ほど、スペースとしても余裕がある。



医歯学系メイン  
キャンパス

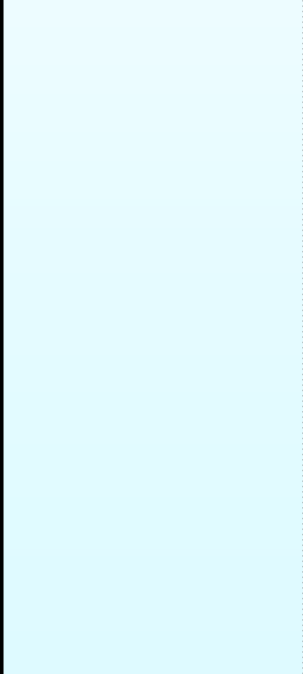


・事務室自体は 101.27 m<sup>2</sup> で、臨時職員を含めて 15 人。



理工学系メイン  
キャンパス

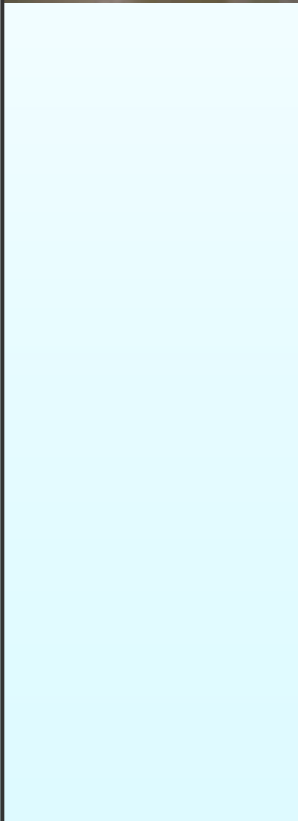
・窓に垂直に机が並んでいる。室内に仕切り等はない。  
・受付のような棚が出入口正面に配置されている。



・座位の執務スペースは比較的ゆとりがある  
・大きい机があり、来訪者への対応は座れる状態で行うことができる。

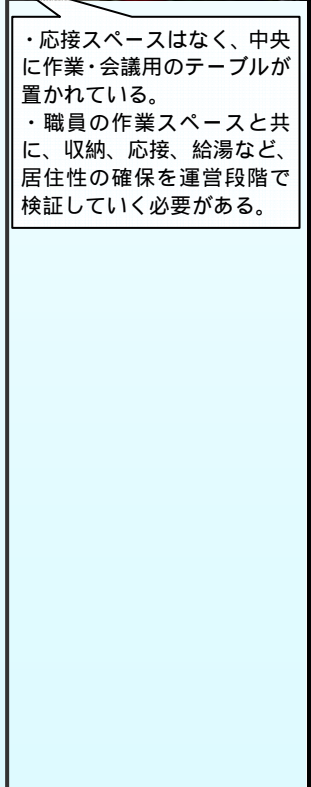
教育学系メイン  
キャンパス

・事務室間仕切りの無い構成である。  
・事務室内の共用備品類はまとめてある。

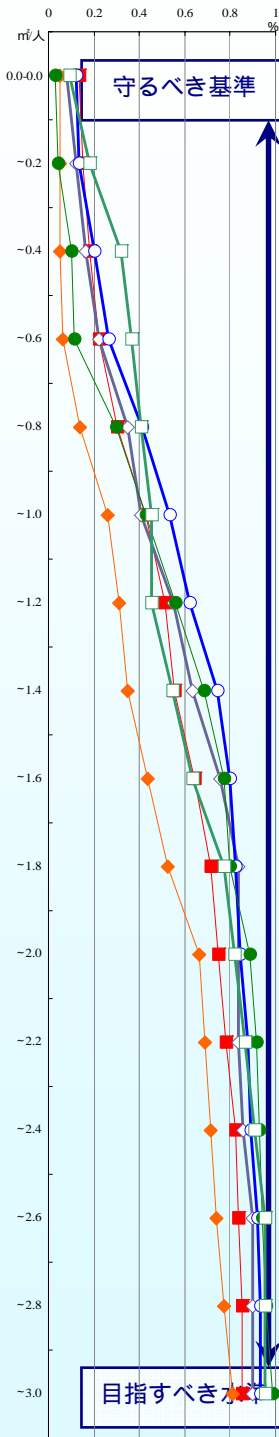


その他系メイン  
キャンパス

・応接スペースはなく、中央に作業・会議用のテーブルが置かれている。  
・職員の作業スペースと共に、収納、応接、給湯など、居住性の確保を運営段階で検証していく必要がある。



学生 1 人あたり図書施設面積の累積割合分布



- : 総合・文理混合
- : 人文学系メイン
- : 医歯学系メイン
- : 理工学系メイン
- : 教育学系メイン
- : その他系メイン

**総合・文理混合  
キャンパス**

・書架間隔は狭く、書架高さも7段でやや高い。

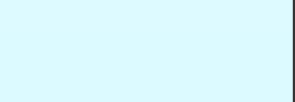
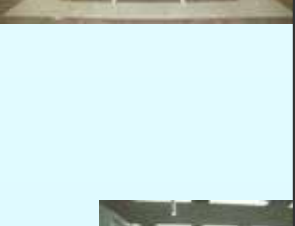
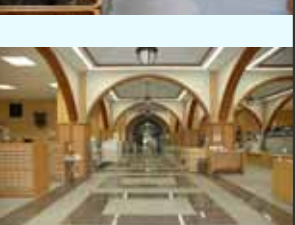


・開放感を作り出す吹き抜けの空間。各階には、ゆとりを持って設置されている自習スペース、ID とパスワードを入力すれば自由に利用できる PC 端末がある。  
・3~5 階まで各階には数室の図書館セミナー室がある。



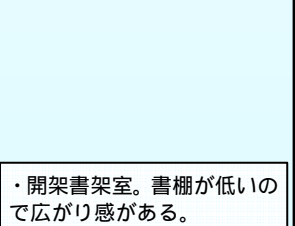
**人文学系メイン  
キャンパス**

・図書・メディアセンターには小教室、研究室、PC 演習室等が入っており、図書館事務とメディアセンター事務とは別に設けられている。



**医歯学系メイン  
キャンパス**

・IT の使用できる個人ブースがあり、レポート作成など自習室として活用される。  
・秋冬の夜間はバスの待合室と化すことがある。



・開架書架室。書棚が低いので広がり感がある。  
・蔵書は 14 万冊。  
・他に、レファレンスコーナー、雑誌コーナー、ニューメディアコーナー、個室、グループ学習室、インターネットコーナー等がある。





理工学系メイン  
キャンパス

・色々な機能が付加されているが、空間量とのバランスが崩れている。メディア・情報提供の機能として空間の確保・計画が必要である。書架スペース、個人用、グループ用の机はかなり狭い。



・個人用の机が用意されているが、書架との間隔は狭い。



・3階中央部に吹き向けの中庭があり4階には部分は緑を臨む閲覧コーナーがある。この机は奥行きが深いため作業スペースとして利用する学生も多い。

教育学系メイン  
キャンパス



・一部は展示スペースとして利用されることもある。



・書架の間隔は大変狭い。  
・個人用の机が用意されているが、書架との間隔は狭い。

その他系メイン  
キャンパス



・図書館中央の吹抜け吹き抜けの下には、単行本や雑誌類の利用率の高い書籍がまとめられており、中央のソファで読書する学生が多い。  
・吹抜け上部にもトップライト等、自然採光によって十分な明るさが確保されている。

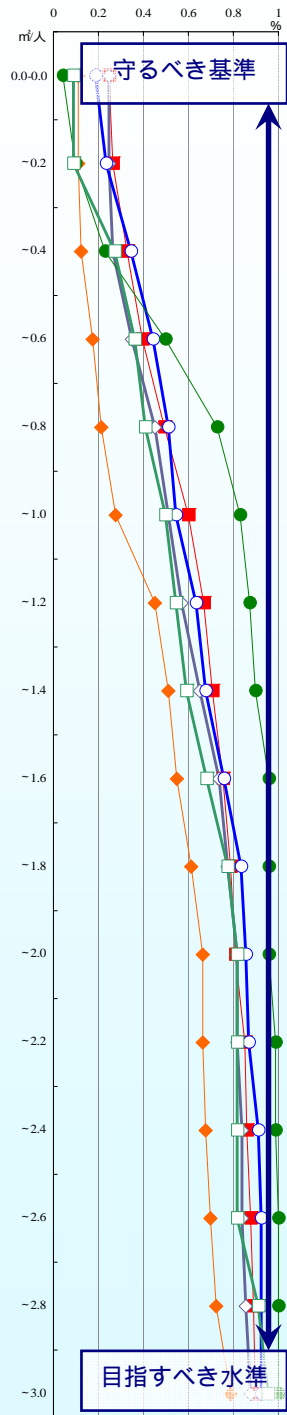
図書館・メディアセンターの新たな役割として、蔵書数に対する面積ではなく、利用に対して必要な施設の面積量・質として捉える必要がある。

居場所、車椅子利用者と書架幅などメディアセンターとして位置づけた場合、その大学の特色（歴史、ギャラリー、美術館、博物館）が現れる。また、蔵書というのはその大学の歴史、知的財産の保有にもなる。

利用の側面と、保蔵の側面の両面が必要



学生1人あたり体育施設面積の累積割合分布



- : 総合・文理混合
- : 人文学系メイン
- : 医歯学系メイン
- : 理工学系メイン
- : 教育学系メイン
- : その他系メイン

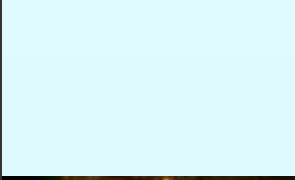
総合・文理混合  
キャンパス



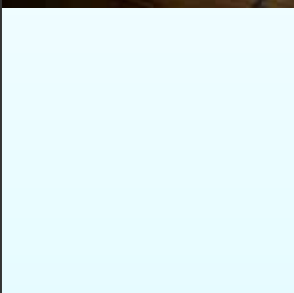
・ダンスバレー練習場。鏡の壁があるのでチアガールの練習場ともなっている。  
 ・体育館内の器具庫が小さいので、入口脇に機械体操用具が置かれている。  
 ・弓道と剣道の武道館。同時に行うことは困難であるが、面積上同居している。



・体育総合実験棟：オリンピック選手強化施設並の設備を誇る。  
 ・体育総合実験棟へのアプローチに下の半屋外空間は雨天時練習施設。



人文学系メイン  
キャンパス



医歯学系メイン  
キャンパス



理工学系メイン  
キャンパス



・屋内運動施設はない。トレーニングルームがあり、保健職員が常駐している。



・練習用バスケットボールコートが2面取れるが、これしか無い。一つしか無いため、練習種目は限られる。

教育学系メイン  
キャンパス



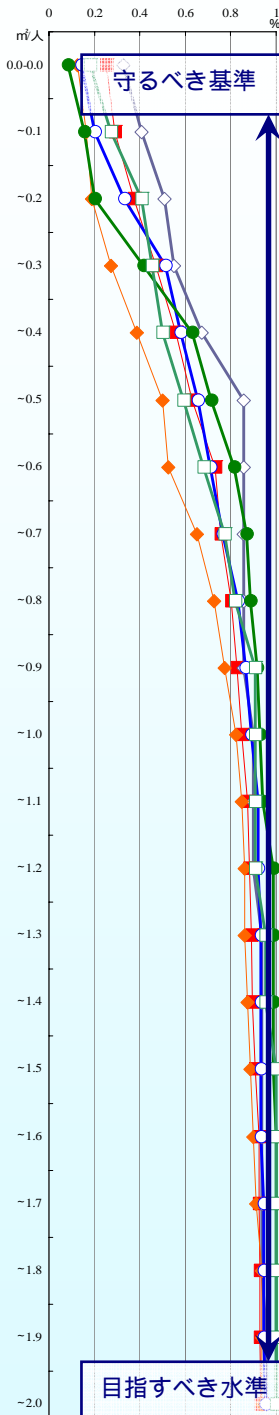
・屋内運動場は種類・面積・質とも充実している。  
・屋内プール内には気圧調整訓練室が設けられている。



その他系メイン  
キャンパス



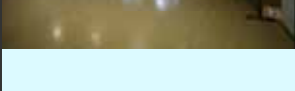
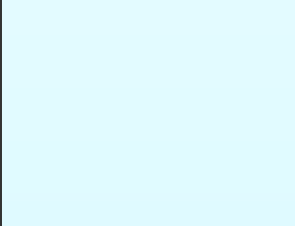
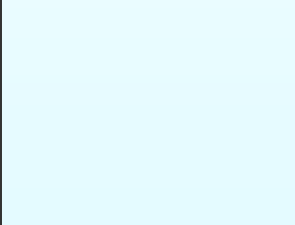
学生 1 人あたり課外活動施設面積の累積分布



- ：総合・文理混合
- ：人文学系メイン
- ：歯医学系メイン
- ：理工学系メイン
- ：教育学系メイン
- ：その他系メイン

**総合・文理混合  
キャンパス**

・サークル棟内の中庭。この中庭は「口」の字型の建物ヴォリュームで囲まれているため、日が入る時間は短い。



**人文学系メイン  
キャンパス**



・4階建て建物の中に30ほどのサークルが利用。一室を2つのサークルでシェアしている。  
・廊下には、靴だな、コンピュータ、様々なものがあふれ出す。4種類のゴミ箱はここでも必須。他の建物は20時に警備職員によりロックされるが、課外活動棟は学生により管理。

**歯医学系メイン  
キャンパス**



・左側が課外活動施設、右側が体育館



・自治会室・クラブ室。学生棟にサークル室10室と学生自治会室がある。

理工学系メイン  
キャンパス



・演奏団の練習室。空間的に狭いと感じる。



・廊下幅は極度に狭く、室数を確保している状況。各サークルの性格は外から感じられない。  
・建物前には路上駐輪が激しく、学生が使用する全ての建物に、駐輪計画が必要であることが分かる。

教育学系メイン  
キャンパス

・部室。ロッカー周りにものが散在している。



・プレハブ・軍用施設跡施設と、サークル部室は環境が良いとはいえない。



その他系メイン  
キャンパス

・学生会室内部は学生によって管理されている。



・ラウンジは、学生食堂のカフェテリアと同じフロアになるため、そこに食べ物を持ち込んでくつろいでいる光景も見られる。  
・茶道などを行える和室もある。





理工学系メイン  
キャンパス

・生協の学食：机・椅子は全て平行に並べられており、収容量が重視されている。外部との関係もなく、空間的な魅力はない



・学生食堂。南側がガラス張りの吹き抜けのため、開放的である。



・学食とは別にあるレストラン。外部事業者が運営している。  
・食堂。席の配列はゆったりしており落ち着きがある。



・1階食堂 白を基調とした清潔感のある空間。開口部が大きく明るい。  
・キャンパスに入って最初の建物。キャンパスに関する情報発信拠点になっている。

教育学系メイン  
キャンパス



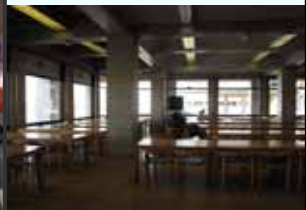
・食事スペース。学生数に対して座席数は少なめとのこと、時間差で利用がされている。



・食堂の軒下にあるテラス。庇を出して席数を確保。

・利用者の増加に合わせて新たにテーブルが設置された。出入りの多い場所なので、若干、落ち着きに欠ける。  
・上部のトップライトによって十分な明るさが確保されている。夏季は熱がこもりやすく中央付近は高温になる。

その他系メイン  
キャンパス



・収容人数を多くするための机配置になっている。これと別に余裕のある机配置のラウンジが厨房上部に設けられている。

#### 4-3 大学キャンパス設置計画、設置後運営における要件

昨年度から引き続いて行った大学悉皆調査の集計、及び本年度重点的に行った現地調査から得られた結果として、今後の大学キャンパスにおける良好な教育環境、研究環境、執務環境を創出するために必要なキャンパス設置計画、設置後運営における要件を整理すると、以下ようになった。これら要件は相互に関連し合う内容であるため、項目毎の検証ではなく、包括的・全体的に捉える必要がある。

空間計画の指針の側面

各種設備、設え、レイアウトの整合性など

領域計画の指針の側面

建物群の構成、外部環境との連続性など

キャンパスの全体計画の側面

道路、敷地境界、ユニバーサルデザインなど

教育内容、研究内容との整合性の側面

カリキュラム、室の回転率、専門領域など

キャンパス内の施設運営組織の存在・在り方の側面

施設管理と同等以上の屋外環境管理、キャンパス計画の策定など

計画実行性の側面

時期設定、予算、将来的に変更可能な空間と不変の空間など

社会的責任の側面

周辺地域との関係、国際的競争力の向上、知的財産・文化遺産の保存活用など

自然環境、環境保護の側面

緑地、植生の保護、土壌保護、エネルギー負荷軽減、周囲への環境影響評価、廃棄物・排水処理など

立地性の側面

交通、気候、地場産業、風土性など

歴史性の側面

知的資産、貴重資料、文化財保存、卒業生の誇りなど

マスタープランの作成

計画における基本的留意点、組織のあり方等

～ 及び各キャンパスの実況に応じて付加した内容を含めた基本構想を作成すること。さらに、その検証を随時行う事。

これら要件をキャンパス設置基準のルールと対応させると次ページの表のように整理できた。

キャンパス敷地計画 (site plan)						
キャンパス計画 (campus plan)=quality						
領域計画 (district plan)						
空間計画 (spatial plan)						
	広さのルール	構成	配置のルール	安全のルール	環境	景観・意匠
建物のルール facility	・建蔽率、容積率	①建物群の構成 建物全体像 隣接間隔、建物と建物間の状況 ②建物へのアプローチ 1階部分と屋外空間の関連 渡り廊下等(建物間の往来、地域性)	・領域の形成 (専門、講義/実験、教育/研究等) ・施設転用への対応 ・搬出入経路との関係 ・将来的な拡張用の空地の確保	・災害、事故への配慮 耐震、制震、免震性の向上 備蓄庫、避難経路の確保 ・防災への配慮 監視システム、出入の制御 ・あらゆる利用者への対応 (バリアフリー、ユニバーサルデザイン)	・環境負荷の軽減 排水利用システム、給湯、 廃棄物処理などの設備選定 ・エネルギー負荷の軽減 太陽光利用、廃熱利用 燃料電池	・Guidelinesの策定 建物外観 施設の軸性、分節等 ・歴史性の保存
道のルール transportation	道路率 道路幅 駐車場率	①道のつくりの全体像 幹線道/細線道の違いと、 歩道/車道/自転車道の幅 歩車分離の状況 ②駐車場・駐輪場 駐車量、駐輪量、あふれ出し ③附帯設備 照明、減速路面、ハンブ ベンチ、サイン	・交通システム 幹線/基幹の整合性 循環ルートの設定 学内バスの運行 ・車両/自転車/歩行のゾーニング 歩車分離 駐車、駐輪スペースの確保 ・将来的な拡張用の道路・動線の確保	・事故、防災への配慮 速度制限、見通し 附帯設備(照明など) ・災害時への配慮 避難経路としての機能 延焼防止としての機能 凍結、積雪、暴風など地域的 特性への配慮	・環境への影響に対する配慮 敷地造成の程度、土壌保全 舗装方法 環境影響評価	・サイン計画 ・Guidelinesの策定 建物外観 附帯設備、舗装 施設の軸性、分節等
自然環境のルール natural condition (植物、水環境で、建物前の植栽・ 並木から、敷地全体にわたるような 自然林まで含む)	1人当り面積	①自然環境(植生、水系)の全体像 街路樹、記念樹、植樹 キャンパス全域、地域性 ②自然素材 植物種目、池、小川 ③人の立ち入り、立ち入り規制 散策路、休息場所、橋、柵の設置	・場の位置付け 植生保全対象として レクリエーション場所として キャンパスの快適性の保持 研究・教育機能の付加 ・時間的な計画性 施設拡張予定地、保存予定地	・災害時への配慮 土砂 ・事故、防災への配慮 土壌汚染	・生態系保全 稀少生物の保全 ・周辺生態系との循環	・地域性の保持 ・景観対象としての自然環境 ・記念性
オープンスペース Yard (広場、前庭、中庭、光庭、 空き地、未利用地など)	1人当り面積	①オープンスペースの全体像 広場、前庭、中庭、光庭 建物との位置関係 ②附帯設備 照明、ベンチなど居場所設備 排水、排雪など季節気候への対応	・場の位置付け 教育機能の付加 レクリエーション場所として ・時間的な計画性 施設拡張予定地、保存予定地	・事故、防災への配慮 ・災害時への配慮 避難広場の確保、 広域避難区域指定	・環境への影響に対する配慮 敷地造成の程度、土壌保全	・サイン計画 ・Guidelinesの策定 建物外観 附帯設備、舗装 空地の軸性、分節等
敷地入り口・境界 boundary	入り口付近 1人当り面積	①入り口の全体像 車両、歩行、一時滞留場所の広さ ②案内所、受け付け、情報掲示 ③周辺地域からのキャンパス外観 地域性(防風・防雪)	・外部からのアクセス性 主要アクセスの方法 正門・裏門、シンボル ・キャンパス内部の位置関係 各施設への誘導、正面施設	・災害時への配慮 広域避難区域指定 防風・防雪機能 ・事故、防災への配慮 侵入防止	・周辺への環境影響評価	・サイン計画 ・Guidelinesの策定 建物外観、シンボル性 ・周辺地域との関係、風土気候 ・歴史性の保存
屋外運動場 athletic field (各種競技場、観客席、器具倉庫、 クラブハウス、附帯設備)	1人当り面積	①運動場の全体像 各種競技場、観客席 附帯設備(ネット、照明) クラブハウス、屋内運動場	・施設的位置付け 学内利用者のアクセス 地域開放、学外利用者への配慮 ・他関連施設との関連性	・事故、防災への配慮 ・災害時への配慮 避難広場の確保、 広域避難区域指定	・環境への影響に対する配慮 敷地造成の程度、土壌保全	・Guidelinesの策定



キャンパス敷地計画 (site plan)						
屋内空間	キャンパス計画 (campus plan)=quality					
	領域計画 (district plan)					
	空間計画 (spatial plan)					
	広さのルール	構成	配置のルール	安全のルール	環境のルール	景観・意匠のルール
<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義室 (80人以下, 80~200人, 200人以上の各大きさを1室ずつ)</li> <li>・実習室 (授業で使用1室)</li> <li>・実験室 (授業で使用1室)</li> </ul>	・1人当り面積	①室内の様子 (全体像) 全体的な室の大きさ 机, 椅子のレイアウト ②授業用設備, 各座席の設備 (授業内容, グレード設定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室のバリエーション</li> <li>・地域開放への対応</li> <li>・前室, 講師室, 準備室の配分</li> <li>・屋外空間との関係</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害・事故への配慮</li> <li>・避難経路の確保</li> <li>・各種警報・防災システム</li> <li>・防犯への配慮</li> <li>・扉施錠</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空調設備の性能, 配置の設定</li> <li>・照明設備の性能, 配置の設定</li> <li>・換気設備の性能, 配置の設定</li> <li>・日射の制御</li> </ul>	・Guidelinesの策定
・研究執務室	1人当り面積	①室内の様子 (全体像) 全体的な室の大きさ 机, 椅子のレイアウト ②附属設備 (グレード設定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・領域の形成 (専門, 講義/実験, 教育/研究等)</li> <li>・講義室, 実験室, 演習室, 学生室等との位置関係</li> </ul>	同上	同上	同上
・事務室	1人当り面積	①室内の様子 (全体像の把握) 全体的な室の大きさ 机, 椅子のレイアウト ②附属設備 (グレード設定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・領域の形成 (専門, 講義/実験, 教育/研究等)</li> <li>・講義室, 実験室, 演習室, 学生室等との位置関係</li> </ul>	同上	同上	同上
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生室 (自習室, ラウンジ, 談話室等を含み, 学生が授業時間以外に居場所として使用できる室。)</li> </ul>	1人当り面積	①室内の様子 (全体像) ②机, 椅子のレイアウト (室の大きさと使用のバリエーションの関係の把握)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・領域の形成 (専門, 講義/実験, 教育/研究等)</li> <li>・講義室, 実験室, 演習室, 教官の研究執務室との位置関係</li> </ul>	同上	同上	同上
・図書館, 室	1人当り面積	①施設内の様子 書架, 閲覧, 休憩スペース (室の大きさと使用のバリエーションの関係) ②多様なメディアへの対応 ③付加機能 (情報演習, 講義室, 研究室等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設的位置付け</li> <li>・学内利用者のアクセス</li> <li>・情報関連施設の集積</li> <li>・地域開放, 学外利用者への配慮</li> <li>・多用途化への対応, センター的性能</li> <li>・搬出入経路の確保</li> </ul>	同上	同上	同上
・屋内運動場	1人当り面積	①施設内の様子 体育館, 屋内プール, トレーニング室等, 関連機能の種類 (施設の大きさと室種類のバリエーションの関係)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設的位置付け</li> <li>・学内利用者のアクセス</li> <li>・地域開放, 学外利用者への配慮</li> <li>・搬出入経路の確保</li> </ul>	同上	同上	同上
・課外活動室	1人当り面積	①施設内の様子 クラブハウス, 練習室, シャワー室, 器具庫等, 関連機能の種類 (施設の大きさと室種類のバリエーションの関係)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隣接施設・室</li> <li>・屋内運動場との位置関係</li> <li>・屋外運動場との位置関係</li> <li>・研修, 宿泊施設等の配分</li> <li>・搬出入経路の確保</li> </ul>	同上	同上	同上
・食堂, 飲食スペース	1人当り面積	①室内の様子 (全体像) 机, 椅子のレイアウト (室の大きさと使用のバリエーションの関係)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設的位置付け</li> <li>・学内利用者のアクセス</li> <li>・地域開放, 学外利用者への配慮</li> <li>・搬出入経路の確保</li> </ul>	同上	同上	同上

以上のように、キャンパス設置のルールとそれに対応する計画項目が今回の調査で得られた。この項目表に挙げられた事項の他にも含まれるべき内容があると思われるが、それらを受容するための大枠として、表のようなルールとその項目を設定した。

また、何を水準とするかは各大学によって異なるものであり、量的・項目的に水準を満たせばそれで良いという弊害を可能な限り除くため、大学側がキャンパス運営の能力を有することが必須となる。繰り返しになるが、これら要件は相互に関連し合う内容であるため、項目毎の検証ではなく、包括的・全体的に捉える必要がある。

さらに、こうしたルールや項目以外に大学キャンパスが守るべき基準として、各種関連する法律、例えば土地形成、建築物、都市計画、安全性、耐震性、衛生、環境、エネルギー、高齢者・障害者への配慮等のキャンパス設置に関連する各種法律があり、社会的責任上、積極的な促進に努めることが必要である。

最後に、こうした項目内容や基準の緩和は現在の時代的流れであり、時代が変化すればこうした流れも妥当性を欠くようになる事が考えられる。“設置”基準から“運用”基準への変更、このこと自体も経年と共に形式化することが考えられ、常に検証し続ける事が重要である。

## 第5章 大学キャンパスの校地・校舎のキャンパス設置規範内容

### -キャンパス設置基準のメルクマール-

- 5-1 21世紀型大学キャンパス基本計画指針
- 5-2 大学キャンパス要素の規範内容：キャンパス計画のルール策定
- 5-3 大学類型別の設置内容
- 5-4 大学立地別の設置内容
- 5-5 大学・大学キャンパスの今後の課題
  - 5-5-1 大学と周辺地域との連携
  - 5-5-2 多様な属性の学生に配慮したキャンパス整備
  - 5-5-3 各大学に有する伝統を継承することの重要性
  - 5-5-4 大学統合化への対応-分離型大学キャンパスの設置基準のあり方-

## 5章 大学キャンパスの校地・校舎のキャンパス設置規範内容 キャンパス設置基準のメルクマール

### 5-1 21世紀型大学キャンパス基本計画指針

1. 大学の理念、フィロソフィーに対する明確な教育、研究指針をキャンパス計画に反映させる。
2. 上記理念に基づく教育環境、研究環境の構築、および教育方法、専門研究内容、並びに、今後のキャンパスの将来構想に立脚した大学マスタープラン、並びに大学キャンパスマスタープランを作成する。
3. 大学キャンパスの中・長期計画のマスタープランの立案。中期計画においては大学の将来方向を反映させた大学キャンパスロードマップ、キャンパスリニューアルプランの作成、長期計画においては、新領域の発展方向をふまえたマスタープラン、グランドプランを作成する。大学キャンパスマスタープランでは、キャンパスを構成する校地と校舎を総体として一体的に把握し、その整備方針を立案する。
4. 基本的なキャンパスの骨格づくりでは、エコロジカル思想を基軸としたキャンパス環境・ファシリティ・マネジメント計画を構築する  
注)環境・ファシリティ・マネジメント計画： 環境マネジメント計画、  
省資源・省エネルギーキャンパス計画、  
自然環境エコアップキャンパス計画の3分野構成
5. 大学の歴史的通時的な教育・研究資産の継承と、それを担保し得る大学キャンパス環境整備計画を構築する。

### 5-2 大学キャンパス要素の規範内容：キャンパス計画のルール策定

#### 1. 広さのルール：キャンパス環境、研究環境、教育環境、日常活動環境

大学キャンパス敷地の規模、研究用室規模、教育用室規模は、ある一定以上の規模の設定が必要とされている。何を基準とするかは、経験則、人体寸法、環境co2基準などが従来からの考え方である。の経験則は、現況のつかわれ方からみた平均値、すなわち狭ければ広く変更され、広ければ狭く縮小される、利用からみた一定の値に収束する法則である。また、の人体寸法からは、人間工学的に、その室でどのような行為・行動が発生するか、その動きからその動作を妨げないようにする寸法基準である。の環境基準からは室利用者人数の呼吸から、室内のCo2濃度が一定の基準を超えないような気積を持つ空間を必要とすることから定めようとするものである。

これらから求められる基準は、「広さ」における現行の内規に準ずる広さの規模であり最



低基準と考えることができる。

この基準より、上位の判断要素としては、教育のしやすさ、指導のやりやすさ、研究のしやすさ、働きやすさ等で評価することが必要である。

- ・活動の内容から見ると、教育環境の側面では、教育の対象人数を決め方により大きく左右される。45人、60人、80人では講義のしやすさ、指導の丁寧さが異なる。また、研究環境においては、研究内容の深度に伴い、よりていねいな指導として少人数のゼミ室、ならびに実験室・演習室が要求される。研究環境の側面からは、専門領域の相違により、その構成内容は異なる。文系では、研究室と少人数ゼミ室、理工系では研究室、研究実験室、ゼミ室の連続した空間、医歯科学系では研究室、演習実験室、ゼミ室など各専門領域の先導的気旧が可能な空間設置が求められる。
- ・大学校舎基準坪数の資料(大学設置審査内規 1955年11月)によると、法文系(100人定員の一般教養と専門教育)：2.4坪、工学系同：1.4坪、農学系同：1.4坪、理学系同1.6坪と、1人あたり総校舎面積は、相当の広さの規模が想定され運用されている。
- ・更に、1960年国立大学学校施設整備暫定基準(単位坪)では、大学院を置く学部講座あたり所用坪数として、薬学系；150、医学系(旧帝大 200、旧6；180、新8；150)、歯学系(150)、理学系(150)、工学系(150)、農学系(90)、文法経教育系(50)と、最低基準の法文系でも50坪(165 m<sup>2</sup>)と、校舎面積は確保されている。従って、最低基準をクリアーするとともに、教育、研究をしやすく、また能動的な使われ方が可能な室空間構成が望まれる。

## 2. 道のルール

### キャンパスマスタープラン；動線計画

キャンパス内周回幹線道路、ゾーン間幹線道路、基線道路、細線道路など、大学キャンパス内には、教員・学生・院生等の行動形態により道路の利用内容・要求が異なっている。

- ・道路自体の幅員、一方通行、歩車分離などは、学部学生・大学院生・教員・職員の安全性確保のためには最低限必要なことである。敷地にゆとりがない、そこまで道路計画に余地は無いなどの理由は、本末転倒の議論であり、安全確保の上からも必要なことである。
- ・それらの条件を踏まえ、さらに必要な事柄は、道路(動線)計画の出口と入り口のあり方(駐輪場、駐車場など交通手段の置き場所)は、計画の対象になっている場合が少ない。たとえ計画されていても目的箇所から離れている、該当対象の台数が少ない等で、その機能を果たしていない場合が多い。

調査対象の多くの大学では、特に学生が使用しているキャンパス内移動手段である自転車の駐輪場の適切な設置が少ない。少しでも駐輪場が離れていると、学生は講義室の近くの空き地に駐輪させている事例が多く、人・車・自転車の通行妨害になっているケースが多い。場所のみ設置しても、機能が果たせない場合は、結果として計画が無いも同然のこととなる。

- ・さらに、計画にあがっていないものは、道路計画におけるバリアフリーの課題である。点字タイルや音による誘導が試みられているが、いずれも場当たりの対応のみであり、全体的な計画性が必要になる。上記内容がそれぞれクリアーされることが重要であるが、最低の基準として、バリアフリーを徹底することが、将来国をリードする若手の人材育成にとって学業とともに、人間性向上の体験として、もっとも重要でかつ必要なことと考える。

植栽管理計画が主に行われている位置(場所)は、大学の正面入り口、大学の顔となる場所がもっとも多い。このことは、植栽が大学の品格を高めると意識している証拠でもある。大学の門から中に入り、その整然としたたたずまいが、大学の学問の豊かさ、懐の大きさ、豊かさを表現すると大学関係者が考えているからである。低木・中木・高木が適切に配置され、花卉の種類等が計画的に選定され、剪定されている。車道と歩道の境界や、建物周りなど低木の花卉が植えられ四季折々の花が咲く景観に考慮した植栽計画がなされるようになってきた。

- ・近年になり、大学はキャンパスの整理整頓、いわゆるキャンパス環境整備を心がけるようになってきている。学生に学問を学ばせ、科学研究の最先端を突き進み、その成果のみを背負っている時代ではなくなっている。講義室と研究室、それに管理部門の建物があるだけのキャンパス計画から、環境計画を最重点として大学キャンパスの計画がなされるようになってきた。

そのように、学問の基盤と教育のあり方は、豊かなキャンパス環境が基盤であるとの考え方が主流となりつつある。しかしながらその場所は、大学の入り口や正面であり、本来的に整備すべき箇所は後追いになっている。講義室や研究室の周りの環境整備は、まだまだ未整備の状況が多い。

- ・すべてが準備され、学生や教員が客の立場でその環境を享受するということではない。関係者自らが環境を大切に、教育環境、および研究環境を重視し、キャンパス全体を一体的な環境単位と考える素地作りをまず考えなければならない。よい環境は、より良い教育環境を創造し、また研究環境を醸成し、教育研究を通して、人間関係を構築し仲間を作り出す。そのような水辺空間、緑空間(植栽・花卉)等、今後の大学キャンパス計画には当然のこととして計画されなければならない要素であり、大学のキャンパス設置基準として、第一に考える必要がある。
- ・特に開発的に大学キャンパスが計画されている地域では、水辺空間や緑空間は設置前の自然環境をできる限り保全継承することが重要である。水辺空間、緑空間は、一度破壊されると再生に時間と経費と手間がかかり、キャンパスの自然環境計画を樹立しておくことが重要である。

建物のルールは、その大学の学問理念とフィロソフィー、将来構想を具体化したマスタープランに基づいて建設することが重要である。その前提は、大学の長期構想が必然として存在していなければならない。建物のルール、道のルール、配置のルールは、キャンパス計画の骨格であり、その骨太でフレキシブルな計画の樹立が前提となる。さらに、大学キャンパスは、膨大な敷地を有していることから、周辺地域社会の際の避難地として、建物周囲や空地を事前に計画していくことも、今後の大学キャンパスの役割でもある。すなわち、地域から独立したキャンパス計画ではなく、地域と一体的になったキャンパス計画が今後必要になる。更に、現代的な社会的要請として大学と地域社会とお連携協力が社会的な貢献として求

められている。その一環として、「市民参加開放型施設の設置」についてルールが必要と考える。従来のように講義室を公開講座に使用するだけでなく、例えば、展示・プレゼンテーション等に使用できる施設、体育施設、NPOが使用できる研究・ワークショップ等の施設について、市民の参加を前提とした設置を求めることによって、大学内の研究・教育活動が、より社会や地域と密接したものになることが期待できる。大学の規模や、研究・教育分野にあわせて、学外との連携にはさまざまな方法が考えられるが、これまで、大学においては、このような目的に使用できる施設の整備が今後必要である。

- ・学部学生と大学院生の交流、学生・院生と教官との日常的な交流は、授業や実験において親しみと信頼性を醸成し、教育活動や研究活動に有効に作用する。
- ・学生・大学院生の使用する研究室、講義室等は、低層階5階までに設置させることが望ましい。その主な理由は高層であると地上になかなか学生・院生が降りてこない、理解しがたいかもしれないが、一度高層建築物に入ってしまうと、外出する機会無いと、建物から外に出てこない。すなわち学生間の交流を行う機会が減少するからである。研究室に所属するようになると、活動は研究室や講座専門領域内の学生・院生に限定され、他の学問領域の学生とのつきあいが減少する。その弊害を少しでもなくすには、講義の前後に、地上レベルで他の学問領域の学生院生との自然な交流を促進させる仕組みが必要である。学生の居場所、交流スペースを設けることが重要である。
- ・大学のキャンパス計画は、国に将来をになう教育・研究の人材育成とともに、先駆的長い年月にわたり人々が蓄積してきた技術の保全・継承の場として計画することも肝要である。過去から現在までの学問体系の集積として、また、現在の学問領域の集大成として、さらに今後の新領域研究開発の展開の場として計画することが重要である。

##### 5．配置のルール；活用の目的性、効率性（学問領域計画、新領域学問計画）

配置のルールは、大学の将来構想をふまえ、現時点における学問体系を具現化したものである。その学問体系は、「8．歴史的通時性の確保」の現代として、その配置は、文化的遺産として維持すべきものである。新領域は学問の発展的展開を予測して担保してあるスペース、あるいは空地を利用して、安易な建設を行うべきではない。

- ・学生と大学院生、それらと教官の関係は、その大学が持っている役割に対応し、その適切な関係を構築すべきである。その活動を担保するのがキャンパス内の建物の領域構成である。高度研究開発重点であると教官と学生院生が一体的に教育と研究を進め、また生涯学習中心の講義的重視の大学では、学生相互の連携を深めるようにする、これら大学の役割とその期待に対応するよう大学キャンパス独自の配置を考えることが重要である。
- ・一般的に、大学院学生、学部学生の行動パターンは、学部・学科、大学院専攻単位でまとまりがちである。学生、院生相互の交流と、学生・院生との教員の交流は、日常同じゾーン内で過ごせるようにすることが、学年間、学部と大学院の学生にとってより多くの情報を共有することができる。しかしながら、キャンパス全体として、中心性を機能として持つことは非常に重要なことである。総合大学、単科大学、それぞれ専門領域に特化した大学の構成員は、キャンパスの臍をコアとして一体的なまとまりを持つことが

活動のモチベーションを向上させることとなる。

従って、大学キャンパスの中心性を確保しつつ、配置のルールを考えることが非常に重要なことである。

#### 6 . 安全・安心・快適のルール                      キャンパスマスタープラン；安寧の計画

快適、安心のルールは、キャンパス環境整備をする上で、一定以上の上位概念と見られがちである。単に、場所と建物の器を与えれば、大学のキャンパスが構成できるという、「時代遅れの考え方」をしている場合が多い。安心性と快適性は、決して上位概念ではなく、キャンパスルール化の第一歩である。安心と快適を他のキャンパスルールと同一視するには、それ自身を目的化しなければならない。道路の安全は、歩車分離を目的とする。道路の街路灯は、明るさのみではなく、見通しとその照明範囲を目的化する。すなわち結果概念ではなく目的概念化することがキャンパス整備の第一歩と考える。

・従って、安心・快適を目指した1から5までのルール化のチェック内容を、第6の安全・快適のキャンパスのルールとして提案する。

#### 7 . 風土性の確保                      キャンパスマスタープラン；風土への畏敬

大学キャンパスの地形、風向、気象等、歴史的に培われてきた技術を、現代の中に取り入れることである。防風林や防雪林を何処に設置するか等、ごく当たり前の事柄を新キャンパスなどではしていないケースが多い。建物のことだけを考慮し、その周辺部や外構計画をしていないキャンパスが、今回の調査研究対象キャンパスにも数多く見られた。これらは、大学のキャンパスを建物だけの構成で可能であると考えている反映と捉えられる。建物部分だけをキャンパスでとの考え方であり、全体、すなわちキャンパスの環境を考慮していなかった証明である。今後この風土性をキャンパスの設置基準要素として考慮することが肝要と考える。

#### 8 . 歴史的通時性の確保：時代と技術・文化、技能集積、知識の集積等：先達への尊敬

記念館、伝統的な建物等、精神的バックボーンとしての歴史的な通時性のことを言う。その大学キャンパス内で過去発生した事象が、現代においてもその価値を持ち続けることができる事柄を、価値ルールとして維持することである。時間の経過がなせる技、それをルール化することが大学キャンパスの能力水準を高める上で大切なことである。

### 5-3 大学類型別の設置内容

#### <総合型キャンパス>

総合型キャンパスには、多様な教員、学生、研究・教育環境が混在する。旧帝大からの長い歴史過程において、キャンパスには、各部局（学部ごと、本部など）によるエリアの管理方式と占有意識が培われてきた。そのため、キャンパスの景観、オープンスペースのあり方、使われ方について、総合的かつ円滑に整備されてきたとは言い難い。

キャンパスを歩き見渡すときに、一見一体化して見える一つのオープンスペースでも、その中に境界線がひかれ、管理主体が複数の部局に帰属している場合があり、まとまった景観を形成するための支障となっている場合が見られる。それらは、例えば、ひとつのオープンスペースに面する建物の外観デザインのちぐはぐさ、不自然な出入口の位置、空いたスペースに分散して設置されるテニスコートや倉庫、全体の利用動線になじまない吾妻屋、ベンチの設置などに現れている。また、各学部の建物が、玄関前面に大きなオープンスペースを抱きながら正面性を強く意識したデザインとなっている一方で、建物側面の構成やデザイン、特に他の部局との境界線に面する側面における無関心さなどにも現れている。各学部は、多くの複数建物を保有しているが、建物の棟間隔が不自然に狭く圧迫感を感じるような事例にも、この境界線が影響していると考えられる場合が散見される。また、敷地内の植栽への動線、キャンパス内にある広大な農場のランドスケープなど、観光価値をもつ資源に対しても、十分な配慮がなく、キャンパスの特徴として生かされていないように見受けられる。このような状態を改善するためには、部局間の垣根を取り払い、キャンパス全体整備の指針をマスタープランとしてもつことが必要である。マスタープランなくしては、大学の構成員が同じ方針を共有し、時間軸にそって継続的にキャンパス整備を進めていくことはできない。キャンパス施設には、長く使われていくことが求められるとすれば、初期の施設設置だけでなく、継続的に整備を進めることが可能なしくみづくりが不可欠であると思われる。

#### <人文系キャンパス>

人文系分野の場合、理工系や医歯学系キャンパスのような特別な施設・設備を必要としない場合も多く、講義室や演習室の確保・充実、また、そのゾーニング・領域形成も重要である。講義形式の授業が中心となることから、受講者に対応する十分な席数の確保とともに、授業形式の多様化に対応できるような空間のフレキシビリティが必要である。

その学問内容から、調査・研究を学外で行う場合が多く、学生・教員ともにキャンパス内に滞在する時間が少ない。したがって、学問的な特性への配慮が必要である。また、学生が研究室での居場所を確保することは少ないことから、キャンパス内での居場所の確保も重要である。とりわけ、図書館、ラウンジ、屋外などに、自習、くつろぎ、歓談、議論を目的としたゆとりある快適な空間の確保と適切な配置計画が必要である。さらに、人文系キャンパスの場合、その敷地規模が小さい場合も多く、大学外の周辺施設の共同利用にも配慮した整備が必要と考えられる。



### <理工学系キャンパス>

理工学系は、特に実験系理工学系では、薬品を用いた化学実験、工学機械を使用した破壊実験など、他の法文系とは大きく学問領域が異なっている。実験室や工場での作業が多く、それに伴い安全性が強く求められている。教育内容は、一般的な講義、演習、実験と、講義室・演習室・実験室と1つの授業においても多くの場所を使用する機会が多く、学科・専攻単位で地域的な単位が形成される。更に、近年では、学部教育から大学院教育へと学問体系が専門化し、より精密な器具を用いた実験など、高度技術体系への対応が必要とされる。

研究室に所属するようになると、学生の行動範囲は、極度に狭くなり学生相互の交流の場に、計画的に引き出すことが必要になる。そのための、学生の居場所計画が必要となる。

### <医歯学系キャンパス>

高度職業人養成をめざすキャンパスにおいては、職場環境の変化に即応して、演習・実習を改革する必要があるため、演習・実習室の設備は可動的であることが望まれる。

医歯薬系単科・単一の大学キャンパスは高度職業人養成をめざし、個別指導やグループ指導が重要となるので、広さのルールとして1学年の学生数という絶対量を考慮する、個別指導やグループ指導を行なう助手には自身の研究と学生への教育指導を両立できるスペースを保障する、が含まれるべきである。さらに、職場環境の変化に即応して、演習・実習を改革する必要があるため、演習・実習室の設備は可動的とする、が望まれる。

医歯薬系キャンパスにおいては、障がい者の参加・協力によって教育、研究が成り立つので、道のルールとして駐車場から歩道、エレベーターなどの動線が整備される、車椅子用の駐車場とエレベーターとの距離を近づけるなどに配慮する、が必要である。さらに、高度職業人養成には教育と研究と実践は一体化することが効果的であるので、配置のルールとして教育環境と研究環境は分離しない、が含まれるべきである。医歯薬系キャンパスは高度職業人の養成をめざしているため、教育、研究、職業実践が一体的に行なわれることが必要であり、実習施設の身近にあることが重要である。この点で、郊外型の医歯薬系キャンパスは実習施設が遠くに散在することが多く、この点を特に考慮することが重要である。このような弱点を補うためには、学内の演習室・実習室の充実と、地域住民、障がい者、患者が学内の講義・演習・実習に参加、協力しやすい環境、設備が必要である。

### <教育学系キャンパス>

教育学部の中に多くの専攻があり、細分化したそれぞれの内容への対応が必要である。講義は大・中・小の各規模の講義室で行われているが、実習は、関連の研究室の直近の室で行われており、専攻の内容と深く関連した空間利用が行われている。単一学部でコンパ

クトな配置構成となっており、広い校地の外部環境が十分に活かされているとは言い難い。ただし、いたずらに広さを活用する方向にするのではなく、小規模な構成にふさわしい方法で内外の関係を構築し、個々の教室、研究室の空間的室を高める必要がある。

- ・ 講義室の構成としては、専門群を細分化することで様々な教育学課程に対応するため、それぞれに適応した小規模な講義室群によって個々の空間がつけられている。
- ・ 実験室を研究棟に確保することで、講義と実験の明確に分節し、研究と実験の関連を強める構成をとることが可能になる。

#### < 芸術系キャンパス >

各学科の専門教育に必要な講義室は、演習内容と連動していることが多いため、各学科の1学年の学生数を収容できる規模の教室が少なくとも一室は必要である。

各学科の演習室は、1年生からの専門教育に対応できるように、各学年それぞれ通年で使用できる4学年分の演習室が必要である。コンピュータが設置される情報デザイン系や建築・環境系などでは、出力センターなども学科ごとに必要である。

美術系の学科では、アトリエとして利用するため、それぞれの特徴ある演習室が必要になる。塗装の必要な学科では、室内に長時間滞在するため、換気設備がきわめて重要である。また、木彫や石彫などの粉塵が発生する学科では、周囲に影響を及ぼさないような換気設備や廃材置き場や処理場が必要となる。芸術学系では、同一大学内での、専門特化した空間構成が必要とされる。更に、大学全体を、美術館として機能を充足させることにより、周辺地域との連携が構築しやすく、またそのことにより学生の学業へのモチベーションが高まる。

#### < 体育系キャンパス >

体育系メインキャンパスの特性は、武道館・体育館等の各種目に応じた体育・運動施設が充実していることである。これら各種運動施設は個々の建物ヴォリュームが大きいため、景観上、その周囲のオープンスペースの取り方に留意しなければならない。また、それ以上に重要な点として、授業時などの学生の一斉運動の際に生じる音、振動は非常に大きく、キャンパス内の他施設との間隔を広く確保する必要がある。

道路整備の点では、敷地面積、屋外面積に余裕があるため、キャンパス内の道路の見通しは非常に良い。入構する車両は大型の設備搬出入、団体バスなど大型車が多くなる事が考えられ、道路幅だけでなく回転半径、停車、高さの確保が必要である。また、各種運動施設の地域開放等が積極的に行われるため、キャンパス入口からの適切な誘導方法を歩車分離、サイン等において計画する必要がある。

各種運動施設に対しては、種目・質・量を十分に確保する必要がある。それと同時に道路や建物施設との間に十分な距離をとった緩衝帯、および地域開放時に自由に使用できるクラブハウス等を付加する事が必要である。

## 5 - 4 大学立地別の設置内容

### < 市街地型キャンパス >

大学と地域との一体的な大学の施設管理が期待されている。朝夕の犬の散歩に代表されるように、密集した住宅地の中のオアシス的な存在である大学キャンパスは、周辺市民にとって、都市公園的な存在といえる。市民に開放するためのオープンスペースとしての性格付け、歴史的博物館的な建造物の解放、芸術系の学問分野の学生・大学院生の作品の展示など、大学は地域周辺に、博物館的機能や、美術館的機能を周辺の人々に開放する能力を持っている。総合大学は、これらの機能の集積を地域社会にする義務と責任があると考えられる。そのことが大学の存在価値を付加し、社会貢献の一步となると考える。その上で、統合的維持管理、建物内外のセキュリティ、来訪者の安全確保などに、積極的に対応することが必要である。特に、農学における植物園や緑地は、都市公園以上の価値があり、教育・研究を妨げないように開放の方法を、ハード的に計画することが必要と思われる。

### < 都市郊外型キャンパス >

大規模な校地を必要とする大学キャンパスは、地価が安価な郊外へ移転するケースが多い。対象になった自治体は、大学が進出してくることで土地に対するイメージが向上し、大学にとっては、大きなキャンパス用地がよりよい条件で入手することができる。両者にとっては非常に良い関係構築と考えられてきた。しかしながら、ここに大きな欠点があることを見逃すか、あるいは重大なことではないことと誤解していたのかもしれない。学生や教職員の活動のしやすさを無視した計画になっている事実を忘れていない。大規模な敷地を、一定の金額内で求めようとした場合、地価が廉価なところを選択することはやむを得ないことかもしれない。関東では八王子市に、東京23区内の多くの大学が新キャンパス用地を確保し、新キャンパスを開設した。また近年では、九州大学や新潟先端技術大学などが、広大なキャンパスを求めて郊外にキャンパスを建設している。しかしながら、進出してきた当時は両者が、大きな期待を持ち、積極的に開発を下にもかかわらず、近年になってその弊害が顕著に現れてきている。学生や大学院生が、郊外化した大学キャンパスを敬遠し出したのである。

国際会議開催時などは、近在の中核都市内の会議室などを借りて行っている。交通の便、ホテルなどの宿舎の絶対量が大学だけでは充足不可能であるからである。情報の集積化が一つの特性となっている大学では、都市内の大学が有利なことはゆがめ得ないことなのである。いくら情報技術が進んでも、最終的には人間と人間の顔をつきあわした議論が必要と皆感じ始めているかもしれない。情報の集積化。IT技術の進化など、情報に関する技術の高度化が進めば進むほど、従来型の人間と人間との関係が必要との認識が改めて必要とされているのではないか。技術の進化と、人間の新しい関係づくりが必要と思われる。

とは、言ってもすでに多くの大学が郊外化をしまっている事実から、そこでの基

準を見ていく。大学が、大学としての活力を出すためには、そこでしかできない特色を出す必要がある。本来大学が必要とする要素を改めて確認することが重要と考える。

- ・郊外立地のキャンパスは、緑・水（自然環境）のルールとして キャンパス設置前の自然環境をできうる限り、保全・継承すべきである、 キャンパス全体が地域の風土に調和している、 2次的自然（農耕空間として管理された風土）の自然資源（動植物など）を保全する場として機能することが望まれる。
- ・学寮を充実させる、教育方法の新たな展開と、施設整備の充足か、大学院教育のサテライト等、今後の大学院への社会人入学を促進する上でも、郊外立地のキャンパスでは都市中心部にサテライトを設け、遠隔教育のシステムを創設することが望まれる。
- ・国際交流をより一層進めるためには、郊外立地のキャンパスでは海外からの留学生や研修生の宿泊施設をキャンパス内にもつことが望ましい。そこでの真の24時間の国際交流が可能になると思われる。
- ・郊外立地のキャンパスとして、湧き水や河川、ため池などの利用とともに、廃水も浄化できる設備を考えるべきである。自然環境の有効活用と、先進技術の現場での適応技術の確立の方法を探求する等の新たな可能性を追求する。

#### < 地方にある大学キャンパス >

地方の私立大学においては、学生の出身地及び卒業後の就職先企業も多くがその地域周辺に限定されている場合が多く、全国的企業への就職は少ないのが現状である。従って、地方の私立大学においては、地元やその周辺の学生を教育し、同じ地域に人材を供給していくという一種のサイクル形成することにより、地域に貢献していくことになる。そのためには、特に、地域企業との交流ためのスペースの確保が必要となる。地元産業界との連携により、在学中の企業内における学外研修や地元企業による学内講義の開設、または、技術系、工学部系においては産学協同事業などを促進するための施設設備基準を設けることが望まれている。設置の仕方についてはキャンパスの敷地内だけではなく、利便性のよい駅前のサテライトオフィスのようなものまで、ピーアール効果も含めて検討する必要があり、それらに対するルールも必要となる。

#### < 北方・南方圏にある大学キャンパス >

北国や沖縄においては、冬季における雪の処理への対策や暑さへの対応が必要である。除雪が可能な道路計画（除雪車使用）、冬季の雪捨て場の確保（まとまったスペースの確保や駐輪場の使用）、積雪時の歩道の安全確保（十分な歩道幅）などが求められる。一方、暑さが厳しい沖縄などは、キャンパス内の設備の縦走が必要になる。

北方では、夏季においては快適な屋外空間も、冬季はほとんど使用不能になる。また、南方では逆の現象が生じ、夏季や、冬季それぞれ学生や来訪者の居場所を屋内に確保することも求められる。また、学生、教員、職員の移動が多い建物間では、連絡通路を屋内化することも望まれる。



## 5-5 大学・大学キャンパスの今後の課題

### 5-5-1 大学と周辺地域との連携

我が国では、大都市圏の都心市街地内キャンパスを除き、郊外部に立地するキャンパスが数多く存在する。都市郊外部や中小地方都市に立地するキャンパスは、キャンパスが数千人規模の場合は、都市人口のかなりの割合を占めることとなるため大学の動向は都市活動の重要な一部として認識され、広大な大学キャンパス自体が都市の一部を形成することとなる。特に活性化が重要課題の中小地方都市では、大学の活用が鍵となる場合もある。

しかしながら、キャンパスと周辺都市との連携整備は少なく、周辺地域に対し依然として閉鎖的なキャンパスも少なくない。具体的には、キャンパス全体の中で、周辺地域に開放できるゾーン、できないゾーンといった、キャンパス全体のゾーニングや、開放すべきでない研究棟等へのセキュリティ強化策等、メリハリのあるキャンパスマネジメント体制が重要となる。

今後のキャンパスの建設時やリニューアル時に、キャンパス内のみの基準さえ満たせばよい状況でなく、立地都市における大学キャンパスと周辺地域との連携方策を持っておく必要がある。

### 5-5-2 多様な属性の学生に配慮したキャンパス整備

超少子高齢社会の我が国では学生属性の多様化傾向は今後ますます高まることが予想され、日本人・留学生、従来の若い学生・社会人、健常者・身障者など、様々な学生タイプをターゲットとしていく。この点を配慮したキャンパス整備のための計画手法は必需となる。身障者に配慮したユニバーサルデザインキャンパスマニュアル作成とそれに基づく整備事例が出てきているが、多くの大学がターゲットとしている留学生への対応、社会人学生の需要の組み方など、新たな教育・研究対象者への課題はつきない。

休憩スペースなどの、ここちよい居場所づくりについては、新たに建設する建物内は確保される傾向にあるが、築年数の古い研究棟では共同の休憩スペース等の確保が困難な状況もある。近年増えつつある研究棟改修時の整備や学生会館の整備事例など、これから計画・改修にたずさわる関係者が良質な事例を周知しておく状況整備も重要である。

また、大学が立地する地域の気候や特性によるところが大きいのが、屋外・半屋外の居場所づくりは緑地環境整備と併せた計画づくりが有効であろう。

いくつかの大学では、学生・教員参加型でリフレッシュルームのリニューアル、周辺住民参加型でキャンパス内の里山整備等があり、利用者参加型の居場所づくり事例は増えているが、本来業務の傍ら行うことによる負担も大きく、居場所づくりにおける利用者参加型推進にはいくつかの超えるべき課題が残されている。

### 5-5-3 各大学に有する伝統を継承することの重要性

戦後の高等教育において大きな役割を果たした国立大学の設置は、戦後の連合国の指導に従い、地方における教育機会均等への配慮から、1府県に1大学を設置し、複合あるい

は総合的な学部構成によって組織の均質性を求めるものであった。その多くは、戦前の帝国大学、官立単科大学、官立専門学校、高等師範学校、師範学校、青年師範学校といった異なる性格と伝統を有した戦前の多様な旧制高等教育機関を編成し、新制大学における組織としている。各大学は、定性的な法令に基づくことなく、文部省の各大学への個別的対応によって成立し、母体校の校地・校舎を継承したことにより、キャンパスの分散を生じた場合も多い。大学成立後、教育・研究といった学校運営の効率化を目的とし、キャンパスの立地と施設に関する整備が行われ、その結果、現在に至る国立大学キャンパスの基本的形態が完成している。キャンパス統廃合とその際の施設整備の経緯とその実態からは、現在に至る国立大学のキャンパスが、各大学の個性と伝統に配慮した整備方針に基づくものであることを確認出来る。すなわち、各大学の成立時とその後の整備過程を通じて、各校の持つ伝統に配慮した整備が継続して行われている。

以上を踏まえ、高等教育における国立大学の担ってきた役割の大きさを鑑みると、各大学が培ってきた伝統を重んじ、将来に継承していくことの重要性は明らかである。

#### 5-5-4 大学統廃合化への対応 分離型大学キャンパスの設置基準のあり方

現在、日本国内に存在する国立大学法人、公立大学、私立大学の総計 1000 余校を超える大学は、少子高齢化の進捗により、数年後から大学の統廃合化が否応なく進みざるを得ない状況である。大学の学生・大学院生の定員と、当該対象年齢進学希望者数とがほぼ同一数近くになるとともに、高等教育生涯学習への社会人教育が進捗しても、この動向は避けて通れない状況である。現在、短期大学が4年生大学に移行するとともに、九州や中四国の私立大学では、この動きが見られはじめ、学生の募集中止や、大学の閉鎖が進み始めている。

大学は、生き残りをかけて、特色ある、魅力ある大学に変革し始めている。それらは(1)世界的研究・教育拠点形成大学、(2)高度専門職業人育成大学、(3)幅広い職業人養成大学、(4)芸術、体育など特定の専門的大学、(5)地域の生涯学習大学等、いかに大学の特色を出すか、いかに社会に貢献するか等、試行錯誤がされている。

今後、これらの大学の特色化は、グローバル COE プロジェクトや、大学連携プロジェクトと複数の大学が関連するか、あるいはそのことを前提に大学の統合化が匂直すると思われる。

国においても平成の町村の大合併化が進み、道州制移行へのプロセスも現実の課題としてあがりつつある。国立大学法人においても、現行の都道府県を基盤とした国立大学の合併も、その視野内に含まれると考えるべきである。現在の各道府県の大学が総合大学の分校化と位置づけられ、そのキャンパス整備が近未来的な大学整備と思われる。

学部と大学院など教育カリキュラムに対応して現在のキャンパスがそれぞれ別の専門化された分校的キャンパスになり、その対応が緊急な課題になると考えられる。あるいは、いくつかの大学に所属し、専門に対応させ単位を取得し卒業・修了する等、教育制度が根本的に変革する可能性がある。その場合でも、いくつかのキャンパスで、教育を受け研究に従事する。学生にとっては、大学近辺に居住する学生の立場からすれば、2か所あるいはそれ以上の場所に拠点を移動させることとなり、大学生活の質に大きく影響が出てくる。こうした分離型キャンパスの是非はあるものの、分離型キャンパスの設置基準のあり方を

考えることは現在非常に重要と思われる。

#### (1) 移動する学生を考慮したキャンパス空間の設置基準

キャンパスに所属する学生に、他のキャンパスから移動する学生を加えた実質的なキャンパス利用学生数の把握が必要である。教養課程と専門課程でキャンパスが分かれていても、単位未取得などの問題により授業履修のためにキャンパス間を移動している学生が一定数存在しているのが現状である。また、これ以外にも、課外活動、学園祭や講演会といった学内行事への参加といった学生生活の質に関わる移動もあり、キャンパス間の学生移動をいかに考えるかという視点をマスタープランにも反映することが必要である。すなわち、分離型キャンパスの場合、キャンパス間の依存度、補完関係度を表すような指標の設置が求められ、指標に応じたキャンパスマスタープランが必要となる。

##### (1)-1 図書館、体育館、保健センターなど学生サービスの自立化

キャンパスが分離される場合、図書館、体育館、保険センターなどの学生サービス部門もそれぞれに設置する必要がある。キャンパス規模に応じた施設になるため、単独のキャンパスに比べると小規模にならざるを得ない。従って、図書館を例にとると全キャンパスの総合では十分な蔵書数があったとしても、最寄りの図書館ではなく他キャンパスからの移送を要請することもしばしばあり、利便性ととも、理工系分離キャンパス等の専門性には応じていても、総合性、一般性から見地からは魅力のない図書館になっている。このことは体育館や保険センターの規模、装備の水準にも該当する。魅力のない図書館や体育館が教育・研究活動に良い影響を与えないことは明らかである。大学のとりわけ学部教育においては知識の専門性と総合性、一般性のバランスが重要であり、総合性や一般性を確保する基準として、図書館、体育館、保険センターなどが自立的に運用できる最低の設置基準が必要である。

##### (1)-2 分離型キャンパスの中心性の育成

分離型キャンパスの場合、学生や教員は年間あるいは在籍している期間を通じて、好むと好まざるに関わらずキャンパス間を移動する。教育カリキュラムや学生サービスの面において効率化、高度化が図られ unnecessaryな移動を低減する必要はある。しかし、それだけでは分離型キャンパスとしてアイデンティティは生まれにくい。何故移動するのか、移動することが肯定的に感じられるような運用基準の制定が求められる。

#### (2) 分離キャンパスの中心性と大学の求心性の計画

大学統合で総合大学化した大学は、元の大学のキャンパスの特性を最大限考慮すべきである。学生や教職員にとって日常の最も多くの時間を費やす環境には利便性や効率性だけが求められるのではなく、時間的な重みや豊かさも感受できることが望まれる。こうしたキャンパス環境の豊かさに中心性や歴史性が関わっていると考える。特に、キャンパス間

を移動し拠点を数年間毎に変えなければならない生活をおくる学生にとってはキャンパスを利用する時間が分割されるため、それぞれのキャンパス環境の豊かさは重要である。

屋内・屋外の各空間の整備とは異なる次元で、大学の時間的空間的な財産をいかに持続させるかといった視点から導かれた運用基準の制定を求める。中心性が乏しいキャンパスにおいては、埋没した歴史性の発掘、自然発生的に成立してきた中心性の保存・育成、長期的な視野を徹底させるマスタープランの策定など具体的な方策が望まれる。

更に、分離型総合大学キャンパスの場合、キャンパスを総合する求心性が望まれる。つまり、全キャンパスを統合する中心的キャンパスが必要である。昨今のCOEや教育・研究に関する様々な大規模プロジェクトが進行し、文理融合や学部・大学院を縦断・横断的に対応する状況に至っている。これにより、分離型キャンパスにおいてはキャンパス間の連携およびキャンパス全体を総合する拠点キャンパスが必要となっている。中心キャンパスの受け皿としての能力がなければ、こうしたプロジェクトの成功は望めない。教育・研究活動だけでなく、課外活動や各種の催事など、日常の活動において、学生や教員の中心キャンパスを利用するモチベーションがあがる仕掛けとそのための補助が必要である。端的に言えば、大学キャンパスの中心とは学生や教職員が最も濃密に過ごすことができる時間と場所であり、歴史性とはそれらの蓄積でしか培われない。

21世紀は「知識基盤社会」の時代であるといわれている。これからの「知識基盤社会」において高等教育を含めた教育は、個人の人格形成、社会・経済・文化の発展や振興、国際競争力の向上など、国家としての存続にきわめて重要なものである。

大学は世界に通用する高等教育施設としてきわめて重要な基幹的施設である。日本の大学が世界に対して活発な教育研究を国内外に展開するためには、施設整備とともに大学の役割を明解にし、それぞれの役割と責任を果たし、国の発展に寄与することが非常に重要なことである。そのためには、現在の大学が、均一な大学の設置基準に左右されることなく、それぞれが個性を発揮し、その特質を生かし、蓄積された知識・技術・技能・知恵・伝統を維持し、それらを発展継承させ、新たな文化を創世し、社会に貢献することが必要なこととなる。

本報告書は、それらを意図し、今後の我が国の大学キャンパスのあるべき姿、目指すべき大学像への設置内容・基準を調査研究により求めてきたものである。今後の大学キャンパスの計画指針として活用されることを期待するものである。

## 資料

1. 大学悉皆調査 本年度集計に使用した各大学キャンパスの「キャンパス役割類型」「保有施設機能整備区分」「校地・校舎整備区分」と現地調査キャンパス実施箇所の一覧



大学名称	キャンパス名称	運営	キャンパス役割分類	保有施設機能整備区分	校地校舎整備区分	現地調査
小樽商科大学	小樽商科大学	国立	人文学系メインキャンパス	最小基準整備型	単位面積下位・高密・高効率型	
小樽商科大学	札幌サテライト	国立	人文学系メインキャンパス	最小基準整備型	単位面積下位・高密・高効率型	
帯広畜産大学	稲田	国立	理工学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積上位・屋外空間余裕型	
北海道大学	札幌キャンパス	国立	総合・文理混合キャンパス	多用途施設整備型	単位面積中位・施設重点整備型	
北海道大学	函館キャンパス	国立	理工学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積中位・施設重点整備型	
北海道教育大学	札幌校	国立	教育学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位・高密・高効率型	
北海道教育大学	函館校	国立	教育学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位・高密・高効率型	
北海道教育大学	旭川校	国立	教育学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位・高密・高効率型	
北海道教育大学	釧路校	国立	教育学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積下位・高密・高効率型	
北海道教育大学	岩見沢校	国立	教育学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積中位・屋外空間余裕型	
室蘭工業大学	水元1	国立	理工学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積中位・施設重点整備型	
北見工業大学	公園町	国立	理工学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積中位・施設重点整備型	
旭川医科大学	緑が丘東団地	国立	医歯学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積上位・施設重点整備型	
旭川医科大学		国立	医歯学系メインキャンパス	データ上区分不可	単位面積下位・高密・高効率型	
弘前大学	文京町キャンパス	国立	総合・文理混合キャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位・高密・高効率型	
弘前大学	本町キャンパス	国立	医歯学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積中位・施設重点整備型	
岩手大学	岩手大学キャンパス	国立	総合・文理混合キャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積下位・高密・高効率型	
福島大学	金谷川キャンパス	国立	教育学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積中位・屋外空間余裕型	
福島大学	チェンバ大町(サテライト)	国立	人文学系メインキャンパス	最小基準整備型	単位面積下位・高密・高効率型	
宮城教育大学	青葉山キャンパス	国立	教育学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積中位・屋外空間余裕型	
茨城大学	水戸キャンパス	国立	総合・文理混合キャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位・高密・高効率型	
茨城大学	日立キャンパス	国立	理工学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位・高密・高効率型	
茨城大学	阿見キャンパス	国立	理工学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位・高密・高効率型	
群馬大学	桐生	国立	理工学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積下位・高密・高効率型	
群馬大学	荒牧	国立	教育学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積中位・屋外空間余裕型	
群馬大学	昭和	国立	医歯学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積中位・施設重点整備型	
埼玉大学	埼玉大学	国立	総合・文理混合キャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位・高密・高効率型	
埼玉大学	大宮ソニックシティカレッジ	国立	その他系メインキャンパス	最小基準整備型	単位面積下位・高密・高効率型	
埼玉大学	東京ステーションカレッジ	国立	人文学系メインキャンパス	最小基準整備型	単位面積下位・高密・高効率型	
千葉大学	西千葉地区	国立	総合・文理混合キャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位・高密・高効率型	
千葉大学	亥鼻地区	国立	医歯学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積上位・施設重点整備型	
千葉大学	松戸地区	国立	その他系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積上位・屋外空間余裕型	
横浜国立大学	常盤台	国立	総合・文理混合キャンパス	標準施設整備型	単位面積下位・高密・高効率型	
山梨大学	甲府キャンパス	国立	総合・文理混合キャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位・高密・高効率型	
山梨大学	玉穂キャンパス	国立	医歯学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積中位・施設重点整備型	
信州大学	旭	国立	総合・文理混合キャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積中位・施設重点整備型	
信州大学	西長野	国立	教育学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位・高密・高効率型	
信州大学	若里	国立	総合・文理混合キャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位・高密・高効率型	
信州大学	南箕輪	国立	理工学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積上位・屋外空間余裕型	
信州大学	常田	国立	理工学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積上位・施設重点整備型	
新潟大学	五十嵐キャンパス	国立	総合・文理混合キャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位・高密・高効率型	
新潟大学	旭町キャンパス	国立	医歯学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積中位・施設重点整備型	
新潟大学	新潟駅南キャンパス	国立	人文学系メインキャンパス	最小基準整備型	単位面積下位・高密・高効率型	
筑波大学	筑波キャンパス	国立	総合・文理混合キャンパス	多用途施設整備型	単位面積上位・施設重点整備型	

筑波大学	東京キャンパス(大塚地区)	国立	その他系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積下位・高密・高効率型
筑波大学	東京キャンパス(秋葉原地区)	国立	人文学系メインキャンパス	最小基準整備型	単位面積下位・高密・高効率型
長岡技術科学大学	上富岡町	国立	理工学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積上位・施設重点整備型
総合研究大学院大学		国立	総合・文理混合キャンパス	データ上区分不可	単位面積下位・高密・高効率型
総合研究大学院大学	葉山キャンパス	国立	理工学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	データ上区分不可
お茶の水女子大学	大塚	国立	人文学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位・高密・高効率型
電気通信大学	調布キャンパス	国立	理工学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積中位・施設重点整備型
東京大学		国立	理工学系メインキャンパス	データ上区分不可	単位面積下位・高密・高効率型
東京大学	本郷	国立	総合・文理混合キャンパス	多用途施設整備型	単位面積中位・施設重点整備型
東京大学	駒場	国立	人文学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積中位・施設重点整備型
東京大学	柏	国立	その他系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積上位・施設重点整備型
東京医科歯科大学	湯島団地	国立	医歯学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積中位・施設重点整備型
東京医科歯科大学	国府台団地	国立	医歯学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位・高密・高効率型
東京外国語大学	府中キャンパス	国立	人文学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位・高密・高効率型
東京外国語大学	本郷キャンパス(サテライト)	国立	人文学系メインキャンパス	最小基準整備型	単位面積下位・高密・高効率型
東京学芸大学	小金井キャンパス	国立	教育学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位・高密・高効率型
東京工業大学	大岡山	国立	理工学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積中位・施設重点整備型
東京工業大学	すずかけ台	国立	理工学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積上位・施設重点整備型
東京農工大学	小金井	国立	理工学系メインキャンパス	データ上区分不可	単位面積下位・高密・高効率型
東京農工大学	府中幸町	国立	理工学系メインキャンパス	データ上区分不可	単位面積中位・屋外空間余裕型
一橋大学	国立キャンパス	国立	人文学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位・高密・高効率型
一橋大学	神田キャンパス	国立	人文学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積中位・施設重点整備型
政策研究大学院大学	政策研究大学院大学	国立	人文学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積上位・施設重点整備型
東京海洋大学	品川キャンパス	国立	理工学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積中位・施設重点整備型
東京海洋大学	越中島キャンパス	国立	理工学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積上位・屋外空間余裕型
富山大学	五福	国立	総合・文理混合キャンパス	多用途施設整備型	単位面積中位・施設重点整備型
金沢大学	角間キャンパス	国立	総合・文理混合キャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積上位・屋外空間余裕型
金沢大学	宝町キャンパス	国立	医歯学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積上位・施設重点整備型
金沢大学		国立	医歯学系メインキャンパス	データ上区分不可	単位面積下位・高密・高効率型
岐阜大学	岐阜大学	国立	総合・文理混合キャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積中位・施設重点整備型
静岡大学	大谷キャンパス	国立	総合・文理混合キャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位・高密・高効率型
静岡大学	城北キャンパス	国立	理工学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積中位・施設重点整備型
愛知教育大学	井ヶ谷キャンパス	国立	教育学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積中位・屋外空間余裕型
愛知教育大学	大幸キャンパス(附属学校内サテライト)	国立	教育学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積中位・施設重点整備型
名古屋大学	東山キャンパス	国立	総合・文理混合キャンパス	多用途施設整備型	単位面積中位・施設重点整備型
名古屋大学	鶴舞キャンパス	国立	医歯学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積中位・施設重点整備型
名古屋大学	大幸キャンパス	国立	医歯学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積下位・高密・高効率型
名古屋工業大学	御器所キャンパス	国立	理工学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位・高密・高効率型
三重大学	三重大学	国立	総合・文理混合キャンパス	多用途施設整備型	単位面積中位・施設重点整備型
浜松医科大学	浜松医科大学	国立	医歯学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積上位・屋外空間余裕型
富山医科薬科大学	杉谷	国立	医歯学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積上位・施設重点整備型
豊橋科学技術大学	豊橋科学技術大学	国立	理工学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積上位・施設重点整備型
滋賀大学	彦根キャンパス	国立	人文学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位・高密・高効率型
滋賀大学	大津キャンパス	国立	教育学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積中位・屋外空間余裕型
滋賀大学	滋賀大学大津サテライトプラザ	国立	その他系メインキャンパス	最小基準整備型	単位面積下位・高密・高効率型
京都大学	吉田キャンパス	国立	総合・文理混合キャンパス	多用途施設整備型	単位面積中位・施設重点整備型
京都大学	宇治キャンパス	国立	理工学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	データ上区分不可

京都大学	桂キャンパス	国立	理工学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積上位-施設重点整備型
京都工芸繊維大学	松ヶ崎キャンパス	国立	理工学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
京都工芸繊維大学	嵯峨キャンパス	国立	理工学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	データ上区分不可
大阪大学	石橋団地	国立	総合・文理混合キャンパス	多用途施設整備型	単位面積中位-施設重点整備型
大阪大学	吹田団地	国立	総合・文理混合キャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積上位-施設重点整備型
大阪外国語大学	粟生間谷	国立	人文学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
神戸大学	六甲台	国立	総合・文理混合キャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
神戸大学	鶴甲	国立	総合・文理混合キャンパス	標準施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
神戸大学	楠	国立	医歯学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積中位-施設重点整備型
神戸大学	名谷	国立	医歯学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
神戸大学	深江	国立	理工学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積中位-施設重点整備型
神戸大学	unknown	国立	人文学系メインキャンパス	データ上区分不可	単位面積下位-高密・高効率型
奈良教育大学	奈良教育大学	国立	教育学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積中位-施設重点整備型
奈良女子大学	奈良女子大学	国立	人文学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
和歌山大学	和歌山大学	国立	総合・文理混合キャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積中位-屋外空間余裕型
兵庫教育大学	嬉野台地区	国立	教育学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積上位-屋外空間余裕型
兵庫教育大学	神戸サテライト	国立	教育学系メインキャンパス	最小基準整備型	単位面積下位-高密・高効率型
兵庫教育大学	大阪サテライト	国立	教育学系メインキャンパス	最小基準整備型	単位面積下位-高密・高効率型
奈良先端科学技術大学院大学	生駒	国立	理工学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積上位-施設重点整備型
鳥取大学	鳥取	国立	総合・文理混合キャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
鳥取大学	米子	国立	医歯学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積上位-施設重点整備型
島根大学	松江キャンパス	国立	総合・文理混合キャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
島根大学	出雲キャンパス	国立	医歯学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積上位-施設重点整備型
広島大学	東千田団地	国立	総合・文理混合キャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
広島大学	霞団地	国立	医歯学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積中位-施設重点整備型
広島大学	東広島団地	国立	総合・文理混合キャンパス	多用途施設整備型	単位面積上位-屋外空間余裕型
山口大学	常盤キャンパス	国立	理工学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積中位-施設重点整備型
山口大学	小串キャンパス	国立	医歯学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積中位-施設重点整備型
山口大学	大内キャンパス	国立	総合・文理混合キャンパス	最小基準整備型	単位面積下位-高密・高効率型
徳島大学	新蔵キャンパス(事務庁舎・研究所)	国立	その他系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
徳島大学	常三島キャンパス	国立	総合・文理混合キャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積中位-施設重点整備型
徳島大学	蔵本キャンパス	国立	医歯学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積上位-施設重点整備型
香川大学	幸町キャンパス	国立	教育学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
香川大学	三木町医学部キャンパス	国立	医歯学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積上位-屋外空間余裕型
香川大学	林町キャンパス	国立	理工学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
香川大学	三木町農学部キャンパス	国立	理工学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積中位-施設重点整備型
愛媛大学	城北	国立	総合・文理混合キャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
愛媛大学	重信	国立	医歯学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積上位-屋外空間余裕型
愛媛大学	樽味	国立	理工学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積中位-施設重点整備型
高知大学	朝倉キャンパス	国立	総合・文理混合キャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
高知大学	物部キャンパス	国立	医歯学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積上位-施設重点整備型
高知大学	岡豊キャンパス	国立	理工学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積上位-施設重点整備型
鳴門教育大学	鳴門教育大学	国立	教育学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積上位-屋外空間余裕型
九州大学	箱崎地区	国立	総合・文理混合キャンパス	多用途施設整備型	単位面積中位-施設重点整備型
九州大学	病院地区	国立	医歯学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積上位-施設重点整備型
九州大学	六本松地区	国立	人文学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積上位-施設重点整備型
九州大学	筑紫地区	国立	理工学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	データ上区分不可

九州大学	大橋地区	国立	理工学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積中位-施設重点整備型
福岡教育大学	福岡教育大学	国立	教育学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積中位-屋外空間余裕型
佐賀大学	本庄町1団地	国立	総合・文理混合キャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
佐賀大学	鍋島1団地	国立	医歯学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積上位-屋外空間余裕型
長崎大学	文教キャンパス	国立	総合・文理混合キャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
長崎大学	坂本キャンパス	国立	医歯学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積中位-施設重点整備型
長崎大学	片淵キャンパス	国立	人文学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
大分大学	巨野原キャンパス	国立	総合・文理混合キャンパス	標準施設整備型	単位面積中位-屋外空間余裕型
大分大学	挾間キャンパス	国立	医歯学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積上位-屋外空間余裕型
宮崎大学	木花キャンパス	国立	総合・文理混合キャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積上位-施設重点整備型
宮崎大学	清武キャンパス	国立	医歯学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積上位-施設重点整備型
鹿児島大学	郡元	国立	総合・文理混合キャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
鹿児島大学	桜ヶ丘	国立	医歯学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積中位-施設重点整備型
鹿児島大学	下荒田	国立	理工学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
琉球大学	千原キャンパス	国立	総合・文理混合キャンパス	多用途施設整備型	単位面積上位-施設重点整備型
琉球大学	上原キャンパス	国立	医歯学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積上位-施設重点整備型
鹿屋体育大学	白水団地	国立	その他系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積上位-屋外空間余裕型
札幌医科大学	札幌医科大学	公立	医歯学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積中位-施設重点整備型
公立はこだて未来大学	公立はこだて未来大学	公立	理工学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積中位-施設重点整備型
福島県立医科大学	福島県立医科大学	公立	医歯学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積上位-施設重点整備型
会津大学	会津大学	公立	理工学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積上位-屋外空間余裕型
岩手県立大学	滝沢キャンパス	公立	総合・文理混合キャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積中位-屋外空間余裕型
青森県立保健大学	青森県立保健大学	公立	医歯学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積中位-施設重点整備型
秋田県立大学	秋田キャンパス	公立	理工学系メインキャンパス	多用途施設整備型	データ上区分不可
秋田県立大学	本荘キャンパス	公立	理工学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積上位-屋外空間余裕型
国際教養大学	国際教養大学	公立	人文学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積上位-屋外空間余裕型
高崎経済大学	高崎経済大学	公立	人文学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
高崎経済大学	unknown	公立	人文学系メインキャンパス	データ上区分不可	単位面積下位-高密・高効率型
横浜市立大学	金沢八景キャンパス	公立	総合・文理混合キャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
横浜市立大学	福浦キャンパス	公立	医歯学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積中位-施設重点整備型
横浜市立大学	舞岡キャンパス	公立	総合・文理混合キャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
横浜市立大学	鶴見キャンパス	公立	総合・文理混合キャンパス	標準施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
都留文科大学	都留文科大学	公立	人文学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
前橋工科大学	前橋工科大学	公立	理工学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積中位-施設重点整備型
神奈川県立保健福祉大学	神奈川県立保健福祉大学	公立	医歯学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積中位-施設重点整備型
群馬県立県民健康科学大学	群馬県立県民健康科学大学	公立	医歯学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積上位-施設重点整備型
首都大学東京	南大沢キャンパス	公立	総合・文理混合キャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
首都大学東京	日野キャンパス	公立	理工学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
首都大学東京	荒川キャンパス	公立	医歯学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積中位-施設重点整備型
首都大学東京	晴海キャンパス	公立	人文学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
首都大学東京	新宿サテライトキャンパス	公立	人文学系メインキャンパス	最小基準整備型	単位面積下位-高密・高効率型
金沢美術工芸大学	金沢美術工芸大学	公立	その他系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積中位-施設重点整備型
岐阜薬科大学	岐阜薬科大学	公立	理工学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
愛知県立大学	長久手キャンパス	公立	人文学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積上位-屋外空間余裕型
愛知県立大学	サテライトキャンパス	公立	人文学系メインキャンパス	最小基準整備型	単位面積中位-施設重点整備型
富山県立大学	富山県立大学	公立	理工学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積上位-屋外空間余裕型
愛知県立看護大学	愛知県立看護大学	公立	医歯学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積中位-施設重点整備型

三重県立看護大学	三重県立看護大学	公立	医歯学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積中位-施設重点整備型
石川県立看護大学	石川県立看護大学	公立	医歯学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積上位-屋外空間余裕型
情報科学芸術大学院大学	情報科学芸術大学院大学	公立	その他系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積上位-屋外空間余裕型
石川県立大学	石川県立大学	公立	理工学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	データ上区分不可
京都市立芸術大学	京都市立芸術大学	公立	その他系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
京都市立芸術大学	unknown	公立	その他系メインキャンパス	データ上区分不可	単位面積下位-高密・高効率型
大阪市立大学	杉本キャンパス	公立	総合・文理混合キャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
大阪市立大学	阿倍野キャンパス	公立	医歯学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積中位-施設重点整備型
大阪市立大学	梅田キャンパス(サテライト)	公立	人文学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
大阪府立大学	中百舌鳥キャンパス	公立	総合・文理混合キャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積中位-施設重点整備型
大阪府立大学	羽曳野キャンパス	公立	医歯学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積中位-施設重点整備型
大阪府立大学	大仙キャンパス	公立	総合・文理混合キャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
神戸市外国語大学	神戸市外国語大学	公立	人文学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
滋賀県立大学	滋賀県立大学	公立	総合・文理混合キャンパス	多用途施設整備型	単位面積中位-屋外空間余裕型
山口県立大学	本部キャンパス	公立	人文学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
山口県立大学	看護キャンパス	公立	医歯学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積上位-屋外空間余裕型
岡山県立大学	岡山県立大学	公立	その他系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積上位-屋外空間余裕型
広島市立大学	広島市立大学	公立	総合・文理混合キャンパス	多用途施設整備型	単位面積上位-施設重点整備型
尾道大学	尾道大学	公立	人文学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
高知女子大学	永国寺キャンパス	公立	人文学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
高知女子大学	池キャンパス	公立	医歯学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積上位-屋外空間余裕型
香川県立保健医療大学	香川県立保健医療大学	公立	医歯学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積上位-屋外空間余裕型
愛媛県立医療技術大学	愛媛県立医療技術大学	公立	医歯学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	データ上区分不可
北九州市立大学	北方キャンパス	公立	人文学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
北九州市立大学	ひびきのキャンパス	公立	理工学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積上位-施設重点整備型
九州歯科大学	真鶴	公立	医歯学系メインキャンパス	データ上区分不可	単位面積下位-高密・高効率型
九州歯科大学	清水	公立	医歯学系メインキャンパス	データ上区分不可	単位面積下位-高密・高効率型
福岡女子大学	福岡女子大学	公立	人文学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積中位-施設重点整備型
長崎県立大学	長崎県立大学	公立	人文学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
大分県立看護科学大学	大分県立看護科学大学	公立	医歯学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積上位-屋外空間余裕型
沖縄県立看護大学	沖縄県立看護大学	公立	医歯学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積中位-施設重点整備型
藤女子大学	北16条キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
藤女子大学	花川キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積中位-屋外空間余裕型
北星学園大学	大谷地キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
函館大学	函館大学	私立	人文学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積中位-施設重点整備型
札幌大学	札幌大学	私立	人文学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
北海道工業大学	北海道工業大学	私立	理工学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積中位-屋外空間余裕型
札幌学院大学	第一・第二キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
札幌学院大学	大通キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
北海道医療大学	当別キャンパス	私立	医歯学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積中位-施設重点整備型
北海道医療大学	札幌あいの里キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
北海道医療大学	札幌サテライトキャンパス	私立	その他系メインキャンパス	最小基準整備型	単位面積下位-高密・高効率型
北海道情報大学	北海道情報大学	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積中位-屋外空間余裕型
苫小牧駒澤大学	苫小牧駒澤大学	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積上位-屋外空間余裕型
北海道文教大学	恵庭キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積中位-屋外空間余裕型
星槎大学	星槎大学	私立	その他系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積中位-屋外空間余裕型
東北学院大学	土樋キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型



東北学院大学	多賀城キャンパス(未調査)	私立	理工学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積中位・屋外空間余裕型
東北学院大学	泉キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位・高密・高効率型
宮城学院女子大学	桜ヶ丘キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積下位・高密・高効率型
東北工業大学	香澄町	私立	理工学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位・高密・高効率型
東北工業大学	二ツ沢	私立	理工学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位・高密・高効率型
郡山女子大学	郡山女子大学	私立	その他系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積下位・高密・高効率型
東北女子大学	豊原キャンパス	私立	その他系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積中位・施設重点整備型
いわき明星大学	いわき明星大学	私立	総合・文理混合キャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積上位・屋外空間余裕型
仙台白百合女子大学	仙台白百合女子大学	私立	その他系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位・高密・高効率型
千葉工業大学	津田沼キャンパス	私立	理工学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積下位・高密・高効率型
千葉工業大学	芝園キャンパス	私立	理工学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積上位・屋外空間余裕型
麗澤大学	麗澤大学	私立	人文学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積下位・高密・高効率型
和洋女子大学	国府台キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積中位・施設重点整備型
神奈川大学	横浜キャンパス	私立	総合・文理混合キャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位・高密・高効率型
神奈川大学	湘南ひらつかキャンパス	私立	総合・文理混合キャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位・高密・高効率型
相模女子大学	相模女子大学	私立	人文学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積下位・高密・高効率型
獨協大学	草加	私立	人文学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位・高密・高効率型
東京国際大学	第1キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積下位・高密・高効率型
東京国際大学	第2キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積下位・高密・高効率型
東京国際大学	早稲田サテライト	私立	人文学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積中位・施設重点整備型
中央学院大学	中央学院大学	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位・高密・高効率型
東京工芸大学	厚木キャンパス	私立	総合・文理混合キャンパス	標準施設整備型	単位面積下位・高密・高効率型
東京工芸大学	unknown	私立	その他系メインキャンパス	データ上区分不可	単位面積下位・高密・高効率型
明海大学	浦安キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積下位・高密・高効率型
明海大学	坂戸キャンパス	私立	医歯学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積下位・高密・高効率型
聖マリアンナ医科大学	菅生キャンパス	私立	医歯学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積中位・施設重点整備型
松本歯科大学	松本歯科大学	私立	医歯学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積上位・施設重点整備型
埼玉工業大学	埼玉工業大学	私立	理工学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位・高密・高効率型
新潟薬科大学	上新栄町キャンパス	私立	理工学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積中位・施設重点整備型
新潟薬科大学	新津キャンパス	私立	理工学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積上位・施設重点整備型
産能大学	湘南キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積中位・屋外空間余裕型
産能大学	自由が丘キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積下位・高密・高効率型
産能大学	代官山キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積下位・高密・高効率型
国際大学	浦佐キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	データ上区分不可
国際武道大学	国際武道大学	私立	その他系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積中位・屋外空間余裕型
帝京平成大学	帝京平成大学千葉キャンパス	私立	総合・文理混合キャンパス	標準施設整備型	単位面積下位・高密・高効率型
帝京平成大学	帝京平成大学ちはら台キャンパス	私立	医歯学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積中位・屋外空間余裕型
聖学院大学	聖学院大学 さいたま・上尾キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位・高密・高効率型
千葉経済大学	千葉経済大学	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位・高密・高効率型
聖徳大学	松戸キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位・高密・高効率型
聖徳大学	三田キャンパス(サテライト)	私立	その他系メインキャンパス	最小基準整備型	単位面積下位・高密・高効率型
文京学院大学	本郷キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位・高密・高効率型
文京学院大学	ふじみ野キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位・高密・高効率型
目白大学	新宿キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位・高密・高効率型
目白大学	岩槻キャンパス	私立	医歯学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位・高密・高効率型
新潟国際大学	本校	私立	人文学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積下位・高密・高効率型
新潟国際大学	新潟中央キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積下位・高密・高効率型

新潟工科大学	新潟工科大学	私立	理工学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積中位-屋外空間余裕型
尚美学園大学	川越キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積中位-屋外空間余裕型
尚美学園大学	上福岡キャンパス	私立	その他系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
新潟青陵大学	新潟青陵大学	私立	医歯学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
高崎健康福祉大学	高崎健康福祉大学	私立	医歯学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
高崎商科大学	根小屋キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積中位-屋外空間余裕型
山梨英和大学	横根キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
松本大学	松本大学	私立	人文学系メインキャンパス	最小基準整備型	単位面積下位-高密・高効率型
千葉科学大学	千葉科学大学	私立	理工学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積上位-屋外空間余裕型
大宮法科大学院大学	大宮法科大学院大学	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積中位-施設重点整備型
青山学院大学	青山キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
青山学院大学	相模原キャンパス	私立	総合・文理混合キャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
上野学園大学	上野キャンパス	私立	その他系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積中位-施設重点整備型
国立音楽大学	国立音楽大学キャンパス	私立	その他系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
慶應義塾大学	三田キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
慶應義塾大学	日吉キャンパス	私立	総合・文理混合キャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
慶應義塾大学	矢上キャンパス	私立	理工学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
慶應義塾大学	信濃町キャンパス	私立	医歯学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積上位-施設重点整備型
慶應義塾大学	湘南藤沢キャンパス	私立	総合・文理混合キャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
慶應義塾大学	unknown	私立	人文学系メインキャンパス	データ上区分不可	単位面積下位-高密・高効率型
慶應義塾大学	その他	私立	人文学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
実践女子大学	大坂上キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
上智大学	四谷キャンパス	私立	総合・文理混合キャンパス	データ上区分不可	単位面積下位-高密・高効率型
上智大学	石谷キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	データ上区分不可	単位面積下位-高密・高効率型
上智大学	市神井キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	データ上区分不可	単位面積下位-高密・高効率型
昭和大学	旗の台キャンパス	私立	医歯学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
昭和大学	富士吉田キャンパス	私立	医歯学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積中位-屋外空間余裕型
昭和大学	長津田キャンパス	私立	医歯学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
女子栄養大学	坂戸キャンパス	私立	その他系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
女子栄養大学	駒込キャンパス	私立	その他系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積中位-施設重点整備型
女子美術大学	相模原キャンパス	私立	その他系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
女子美術大学	杉並キャンパス	私立	その他系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
成城大学	成城キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
聖心女子大学	聖心女子大学	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
大正大学	巣鴨校舎	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
大正大学	埼玉校舎	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
玉川大学	町田	私立	総合・文理混合キャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
中央大学	多摩キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
中央大学	後楽園キャンパス	私立	理工学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
中央大学	市ヶ谷キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
津田塾大学	小平市	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
東京医科大学	大学キャンパス	私立	医歯学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
東京家政学院大学	町田キャンパス	私立	その他系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
東京経済大学	国分寺	私立	人文学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
東京電機大学	神田キャンパス	私立	理工学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
東京電機大学	鳩山キャンパス	私立	理工学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積中位-屋外空間余裕型
東京電機大学	千葉ニュータウンキャンパス	私立	理工学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積上位-施設重点整備型

東京薬科大学	東京薬科大学	私立	理工学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
東京理科大学	神楽坂キャンパス	私立	理工学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
東京理科大学	野田キャンパス	私立	理工学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
東京理科大学	長万部キャンパス	私立	理工学系メインキャンパス	標準施設整備型	データ上区分不可
東京理科大学	久喜キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積中位-屋外空間余裕型
東邦大学	大森キャンパス	私立	医歯学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
東邦大学	習志野キャンパス	私立	理工学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
日本大学	unknown	私立	人文学系メインキャンパス	データ上区分不可	単位面積下位-高密・高効率型
日本大学	法学部(大宮キャンパス)	私立	人文学系メインキャンパス	最小基準整備型	単位面積上位-施設重点整備型
日本大学	法学部(三崎町キャンパス)	私立	人文学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
日本大学	文理学部(桜上水キャンパス)	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
日本大学	経済学部(三崎町キャンパス)	私立	人文学系メインキャンパス	最小基準整備型	単位面積下位-高密・高効率型
日本大学	商学部(砧キャンパス)	私立	人文学系メインキャンパス	最小基準整備型	単位面積下位-高密・高効率型
日本大学	商学部(新宿サテライト)	私立	人文学系メインキャンパス	データ上区分不可	単位面積下位-高密・高効率型
日本大学	芸術学部(江古田キャンパス)	私立	その他系メインキャンパス	最小基準整備型	単位面積下位-高密・高効率型
日本大学	芸術学部(所沢キャンパス)	私立	その他系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積中位-施設重点整備型
日本大学	国際関係学部(三島キャンパス)	私立	総合・文理混合キャンパス	標準施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
日本大学	理工学部(駿河台キャンパス)	私立	理工学系メインキャンパス	最小基準整備型	単位面積下位-高密・高効率型
日本大学	理工学部(船橋キャンパス)	私立	理工学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積中位-施設重点整備型
日本大学	生産工学部(津田沼キャンパス)	私立	理工学系メインキャンパス	標準施設整備型	データ上区分不可
日本大学	生産工学部(実効キャンパス)	私立	理工学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積中位-施設重点整備型
日本大学	工学部(郡山キャンパス)	私立	理工学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積中位-施設重点整備型
日本大学	医学部(板橋キャンパス)	私立	医歯学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積中位-施設重点整備型
日本大学	歯学部(駿河台キャンパス)	私立	医歯学系メインキャンパス	最小基準整備型	単位面積下位-高密・高効率型
日本大学	松戸歯学部(松戸キャンパス)	私立	医歯学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積中位-施設重点整備型
日本大学	生物資源科学部(湘南キャンパス)	私立	理工学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	データ上区分不可
日本大学	生物資源科学部(東京キャンパス)	私立	理工学系メインキャンパス	データ上区分不可	単位面積下位-高密・高効率型
日本大学	薬学部(船橋キャンパス)	私立	理工学系メインキャンパス	最小基準整備型	単位面積中位-施設重点整備型
日本大学	通信教育部(西神田キャンパス)	私立	人文学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
日本大学	大学院(市ヶ谷キャンパス)	私立	人文学系メインキャンパス	データ上区分不可	単位面積下位-高密・高効率型
日本大学	大学院(お茶の水キャンパス)	私立	人文学系メインキャンパス	最小基準整備型	単位面積上位-施設重点整備型
法政大学	市ヶ谷キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
法政大学	多摩キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積中位-屋外空間余裕型
法政大学	小金井キャンパス	私立	理工学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
武蔵大学	江古田キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
武蔵工業大学	世田谷キャンパス	私立	理工学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
武蔵工業大学	横浜キャンパス	私立	理工学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
武蔵野音楽大学	江古田キャンパス	私立	その他系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
武蔵野音楽大学	入間キャンパス	私立	その他系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積上位-屋外空間余裕型
杉野女子大学	目黒キャンパス	私立	その他系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
杉野女子大学	日野キャンパス	私立	その他系メインキャンパス	最小基準整備型	単位面積中位-屋外空間余裕型
聖路加看護大学	明石町地区	私立	医歯学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
白百合女子大学	白百合女子大学	私立	人文学系メインキャンパス	多用途施設整備型	データ上区分不可
武蔵野大学	西東京	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
帝京大学	八王子キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
帝京大学	板橋キャンパス	私立	医歯学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
帝京大学	相模湖キャンパス	私立	理工学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積上位-屋外空間余裕型

帝京大学	宇都宮キャンパス	私立	理工学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積中位-屋外空間余裕型
帝京大学	福岡キャンパス	私立	医歯学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	データ上区分不可
日本赤十字看護大学	広尾キャンパス(記述なし)	私立	医歯学系メインキャンパス	データ上区分不可	単位面積下位-高密・高効率型
日本赤十字看護大学	武蔵野キャンパス	私立	医歯学系メインキャンパス	データ上区分不可	単位面積下位-高密・高効率型
国際仏教学大学院大学	国際仏教学大学院大学	私立	人文学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積中位-施設重点整備型
学習院女子大学	戸山キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
LEC東京リーガルマインド大学	札幌キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	最小基準整備型	単位面積下位-高密・高効率型
LEC東京リーガルマインド大学	千葉キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	最小基準整備型	単位面積下位-高密・高効率型
LEC東京リーガルマインド大学	千代田キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
LEC東京リーガルマインド大学	新宿キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	最小基準整備型	単位面積中位-施設重点整備型
LEC東京リーガルマインド大学	横浜キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	最小基準整備型	単位面積中位-施設重点整備型
LEC東京リーガルマインド大学	静岡キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	最小基準整備型	単位面積下位-高密・高効率型
LEC東京リーガルマインド大学	大阪キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	最小基準整備型	単位面積中位-施設重点整備型
LEC東京リーガルマインド大学	神戸キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	最小基準整備型	単位面積下位-高密・高効率型
LEC東京リーガルマインド大学	岡山キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	最小基準整備型	単位面積下位-高密・高効率型
LEC東京リーガルマインド大学	広島キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	最小基準整備型	単位面積下位-高密・高効率型
LEC東京リーガルマインド大学	松山キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	最小基準整備型	単位面積下位-高密・高効率型
LEC東京リーガルマインド大学	北九州キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	最小基準整備型	単位面積下位-高密・高効率型
LEC東京リーガルマインド大学	福岡キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	最小基準整備型	単位面積下位-高密・高効率型
白梅学園大学	白梅学園大学	私立	その他系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
愛知大学	豊橋校舎	私立	人文学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
愛知大学	名古屋校舎	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
愛知大学	車道校舎	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
愛知工業大学	愛知工業大学	私立	総合・文理混合キャンパス	多用途施設整備型	単位面積中位-屋外空間余裕型
愛知工業大学	本山キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	最小基準整備型	単位面積中位-施設重点整備型
椋山女学園大学	星が丘キャンパス	私立	その他系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
椋山女学園大学	日進キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積中位-屋外空間余裕型
中京大学	名古屋キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
中京大学	豊田キャンパス	私立	総合・文理混合キャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
名城大学	天白キャンパス	私立	総合・文理混合キャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
名城大学	八事キャンパス	私立	理工学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
名城大学	可児キャンパス	私立	その他系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積上位-屋外空間余裕型
岐阜女子大学	太郎丸キャンパス	私立	その他系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積中位-施設重点整備型
藤田保健衛生大学	藤田保健衛生大学	私立	医歯学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積中位-施設重点整備型
愛知医科大学	愛知医科大学	私立	医歯学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積上位-施設重点整備型
岐阜聖徳学園大学	羽島キャンパス	私立	教育学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
岐阜聖徳学園大学	岐阜キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
北陸大学	太陽が丘キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積上位-屋外空間余裕型
北陸大学	薬学キャンパス	私立	理工学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積中位-屋外空間余裕型
愛知淑徳大学	長久手キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
愛知淑徳大学	星が丘キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
名古屋経済大学	内久保キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積中位-屋外空間余裕型
名古屋経済大学	栄サテライトキャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	最小基準整備型	単位面積下位-高密・高効率型
三重中京大学	三重中京大学	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
高岡法科大学	戸出キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積中位-屋外空間余裕型
高岡法科大学	鐘紡町サテライト教室	私立	人文学系メインキャンパス	最小基準整備型	単位面積下位-高密・高効率型
愛知産業大学	岡崎キャンパス	私立	その他系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積上位-屋外空間余裕型

静岡産業大学	磐田キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積中位-屋外空間余裕型
静岡産業大学	藤枝キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積中位-屋外空間余裕型
鈴鹿国際大学	鈴鹿国際大学	私立	人文学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積中位-屋外空間余裕型
豊橋創造大学	豊橋創造大学	私立	人文学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積中位-施設重点整備型
中部学院大学	中部学院大学	私立	人文学系メインキャンパス	最小基準整備型	単位面積中位-屋外空間余裕型
桜花学園大学	豊田キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積中位-屋外空間余裕型
桜花学園大学	名古屋キャンパス	私立	その他系メインキャンパス	最小基準整備型	単位面積下位-高密・高効率型
桜花学園大学	栄キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	最小基準整備型	単位面積下位-高密・高効率型
静岡文化芸術大学	静岡文化芸術大学	私立	その他系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
富士常葉大学	富士常葉大学	私立	その他系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
人間環境大学	人間環境大学	私立	その他系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
静岡英和学院大学	静岡英和学院大学	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
浜松学院大学	布橋キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積上位-屋外空間余裕型
愛知新城大谷大学	愛知新城大谷大学	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積上位-屋外空間余裕型
光産業創生大学院大学	呉松キャンパス	私立	理工学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	データ上区分不可
大谷大学	大谷大学	私立	人文学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
京都外国語大学	京都外国語大学	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
京都女子大学	京都女子大学	私立	人文学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
京都薬科大学	本校地,南校地	私立	理工学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
同志社大学	今出川キャンパス	私立	総合・文理混合キャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
同志社大学	新町キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	標準施設整備型	データ上区分不可
同志社大学	室町キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積上位-施設重点整備型
同志社大学	京田辺キャンパス	私立	総合・文理混合キャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
同志社大学	unknown	私立	総合・文理混合キャンパス	データ上区分不可	単位面積下位-高密・高効率型
同志社大学	unknown	私立	人文学系メインキャンパス	データ上区分不可	単位面積下位-高密・高効率型
同志社大学	unknown	私立	人文学系メインキャンパス	データ上区分不可	単位面積下位-高密・高効率型
同志社女子大学	今出川キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
同志社女子大学	京田辺キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
京都ノートルダム女子大学	京都ノートルダム女子大学	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
花園大学	花園大学本校	私立	人文学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
佛教大学	紫野キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
佛教大学	広沢キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	データ上区分不可
佛教大学	岩倉キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積中位-屋外空間余裕型
龍谷大学	深草キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
龍谷大学	大宮キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
龍谷大学	瀬田キャンパス	私立	総合・文理混合キャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
大阪医科大学	本部キャンパス	私立	歯学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積上位-施設重点整備型
大阪医科大学	北西キャンパス	私立	歯学系メインキャンパス	最小基準整備型	単位面積下位-高密・高効率型
大阪工業大学	大宮校地(大宮キャンパス)	私立	理工学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
大阪工業大学	枚方第2校地(枚方キャンパス)	私立	理工学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積中位-屋外空間余裕型
大阪商業大学	大阪商業大学	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
関西大学	千里山キャンパス	私立	総合・文理混合キャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
関西大学	高槻キャンパス	私立	総合・文理混合キャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積中位-屋外空間余裕型
近畿大学	本部キャンパス	私立	総合・文理混合キャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
近畿大学	農学部キャンパス	私立	理工学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積上位-屋外空間余裕型
近畿大学	医学部キャンパス	私立	歯学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積上位-屋外空間余裕型
近畿大学	生物理工学部キャンパス	私立	理工学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積中位-施設重点整備型



近畿大学	工学部キャンパス	私立	理工学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積上位-屋外空間余裕型
近畿大学	産業理工学部キャンパス	私立	理工学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
英知大学	英知大学	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
甲南大学	岡本キャンパス	私立	総合・文理混合キャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
神戸女学院大学	神戸女学院大学	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
神戸薬科大学	神戸薬科大学	私立	理工学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
天理大学	杣之内キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
天理大学	田井庄キャンパス	私立	その他系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積上位-屋外空間余裕型
高野山大学	高野山大学	私立	人文学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積上位-屋外空間余裕型
大阪体育大学	大阪体育大学	私立	その他系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積中位-屋外空間余裕型
阪南大学	本キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
阪南大学	南キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	最小基準整備型	単位面積下位-高密・高効率型
聖和大学	聖和大学	私立	教育学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
大谷女子大学	大谷女子大学	私立	その他系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積上位-施設重点整備型
神戸女子大学	須磨	私立	人文学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
神戸女子大学	三宮(一部使用)	私立	人文学系メインキャンパス	データ上区分不可	単位面積下位-高密・高効率型
神戸学院大学	有瀬キャンパス	私立	総合・文理混合キャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
神戸学院大学	長田キャンパス(法科大学院)	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積上位-施設重点整備型
神戸松蔭女子学院大学	神戸松蔭女子学院大学	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
神戸親和女子大学	神戸親和女子大学	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
岡田学園女子大学	岡田学園女子大学	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
京都橘大学	京都橘大学キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
神戸国際大学	神戸国際大学	私立	人文学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
京都学園大学	京都学園大学	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
奈良大学	奈良大学	私立	人文学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
兵庫医科大学	西宮キャンパス	私立	医歯学系メインキャンパス	データ上区分不可	単位面積上位-屋外空間余裕型
兵庫医科大学	篠山キャンパス	私立	医歯学系メインキャンパス	データ上区分不可	単位面積下位-高密・高効率型
明治鍼灸大学	明治鍼灸大学	私立	医歯学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積上位-屋外空間余裕型
神戸芸術工科大学	神戸芸術工科大学	私立	その他系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積中位-施設重点整備型
成安造形大学	成安造形大学	私立	その他系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
兵庫大学	兵庫大学	私立	人文学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
常盤会学園大学	平野学舎	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
神戸山手大学	神戸山手大学	私立	人文学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積上位-屋外空間余裕型
聖泉大学	聖泉大学	私立	人文学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積上位-屋外空間余裕型
大阪成蹊大学	相川キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積中位-施設重点整備型
大阪成蹊大学	長岡京キャンパス	私立	その他系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
関西鍼灸大学	関西鍼灸大学	私立	医歯学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積上位-屋外空間余裕型
大阪女学院大学	大阪女学院大学	私立	人文学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
神戸情報大学院大学	神戸情報大学院大学	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積上位-施設重点整備型
ノートルダム清心女子大学	伊福町キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
広島工業大学	五日市キャンパス	私立	理工学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
広島修道大学	広島修道大学	私立	人文学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
くらしき作陽大学	くらしき作陽大学	私立	その他系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積中位-施設重点整備型
安田女子大学	安田女子大学	私立	人文学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積中位-施設重点整備型
広島経済大学	祇園キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積中位-屋外空間余裕型
梅光学院大学	東駅キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
梅光学院大学	大学町キャンパス	私立	その他系メインキャンパス	最小基準整備型	単位面積中位-屋外空間余裕型

川崎医科大学	川崎医科大学	私立	医歯学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積上位-施設重点整備型
川崎医療福祉大学	川崎医療福祉大学	私立	医歯学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
山陽学園大学	山陽学園大学	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
倉敷芸術科学大学	倉敷芸術科学大学	私立	その他系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積上位-施設重点整備型
呉大学	郷原キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積上位-屋外空間余裕型
呉大学	坂キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
呉大学	阿賀キャンパス	私立	医歯学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
呉大学	呉駅キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	データ上区分不可	単位面積下位-高密・高効率型
日本赤十字広島看護大学	日本赤十字広島看護大学	私立	医歯学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
鳥取環境大学	鳥取環境大学	私立	総合・文理混合キャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積中位-施設重点整備型
中国学園大学	中国学園大学	私立	人文学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積中位-施設重点整備型
四国大学	四国大学	私立	人文学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
聖カタリナ女子大学	聖カタリナ女子大学	私立	人文学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
松山東雲大学	松山東雲大学	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
高松大学	高松大学	私立	人文学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
高知工科大学	高知工科大学	私立	理工学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積中位-施設重点整備型
九州産業大学	九州産業大学	私立	総合・文理混合キャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
福岡大学	福岡大学	私立	総合・文理混合キャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
熊本学園大学	大江キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
鹿児島国際大学	鹿児島国際大学	私立	人文学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
長崎総合科学大学	グリーンヒルキャンパス	私立	理工学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
長崎総合科学大学	シーサイドキャンパス	私立	理工学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積上位-屋外空間余裕型
東和大学	東和大学	私立	理工学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積中位-施設重点整備型
西九州大学	西九州大学	私立	その他系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
沖縄国際大学	沖縄国際大学	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[研究]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
福岡歯科大学	福岡歯科大学	私立	医歯学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積中位-施設重点整備型
尚絅大学	尚絅大学	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積上位-屋外空間余裕型
志學館大学	志學館大学	私立	人文学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積上位-屋外空間余裕型
活水女子大学	東山手キャンパス	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
活水女子大学	新戸町キャンパス	私立	その他系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
筑紫女学園大学	筑紫女学園大学	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
長崎国際大学	長崎国際大学	私立	人文学系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積中位-施設重点整備型
九州栄養福祉大学	九州栄養福祉大学	私立	その他系メインキャンパス	準多用途[講堂]整備型	単位面積下位-高密・高効率型
日本赤十字九州国際看護大学	日本赤十字九州国際看護大学	私立	医歯学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積中位-施設重点整備型
長崎外国語大学	長崎外国語大学	私立	人文学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
長崎ウエスレヤン大学	長崎ウエスレヤン大学	私立	人文学系メインキャンパス	多用途施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型
沖縄キリスト教学院大学	沖縄キリスト教学院大学	私立	人文学系メインキャンパス	標準施設整備型	単位面積下位-高密・高効率型